

原因調査を行ったが、製品に起因して生じた事故かどうか不明であると判断した案件

資料6(122件)

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
1	A202200871 令和4年12月11日(埼玉県) 令和5年1月27日	パワーコンディショナ(太陽光発電システム用)	H5.5J_230	デルタ電子株式会社	(火災) 当該製品を焼損する火災が発生した。	○当該製品は、製品内部において、正面左側に位置するDC入力基板を中心に焼損が認められた。 ○DC入力基板は、入力用の端子台周辺が焼失していた。 ○AC出力基板、メイン基板等のその他の電気部品に著しい焼損等の出火の痕跡は認められなかった。 ○当該製品背面部に設置された配線口用防水プレートの防水コーキングの状態は確認できなかった。 ●当該製品は、DC入力基板上の入力端子部で異常発熱が発生して、焼損した可能性が考えられるが、基板の焼損が著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
2	A202201050 令和5年1月25日(福岡県) 令和5年3月15日	エアコン(室外機)	3M686XV	ダイキン工業株式会社	(火災) 病院で当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	○事故発生時、当該製品は使用していなかったが、通電状態であった。 ○当該製品は、全体的に焼損し樹脂製ファンが焼失していたほか、機械室上部の電装部の焼損が著しかった。 ○電装部の焼損が著しく、メイン基板の基材、リアクターは残存していたが、ほとんどの部品で焼失が認められた。 ●当該製品は、焼損が著しく、確認できない部品があったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
3	A202201057 令和5年2月27日(岐阜県) 令和5年3月16日	リチウム電池内蔵充電器	A1641	アンカー・ジャパン株式会社	(火災) 当該製品を充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	○当該製品は、樹脂製外郭が焼損して、内部のリチウムポリマー電池セル2個が露出していた。 ○電池セルの焼損は著しく、負極銅箔が残存していたものの、アルミラミネートフィルム外装及び正極のアルミ箔が焼失していた。 ○基板及びワイヤレス充電用コイルに溶融痕等の出火の痕跡は認められなかった。 ○充電に使用していたACアダプター及び充電ケーブルに出火の痕跡は認められなかった。 ○使用者は事故発生の5日後に消防へ通報し、消防が現場を確認した際には、既に当該製品の周辺の焼損物等は片付けられており、事故発生時の状況は不明であった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムポリマー電池セルが異常発熱して出火した可能性が考えられるが、焼損が著しく、事故発生時の詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
4	A202201107 令和5年2月21日(佐賀県) 令和5年3月31日	コンセント	WTF15024	パナソニック株式会社	(火災) 当該製品に電気製品を接続して使用中、異臭がしたため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。	○当該製品に接続されていた電気ストーブ(消費電力1000W)の使用を開始してから約1時間半後に電気ストーブの電源プラグと当該製品が焼損した。 ○当該製品は、片側の極を中心に焼損しており、樹脂製外郭の一部が焼損していた。 ○当該製品背面部において、焼損部に接続されていた屋内配線は、断線して当該製品から脱落しており、芯線先端部に変色及び先端部の先細りが認められた。 ○焼損部に位置する連結端子の錠ばねに溶融が認められた。 ○焼損部の連結端子において、屋内配線の芯線と接触する端子板に変色が認められた。 ●当該製品は、連結端子において端子板と屋内配線の間で接触不良となったため、異常発熱したものと推定されるが、接触不良となった原因が特定できず、製品起因が否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	(A202201040と同一事故)
5	A202300037 令和5年3月22日(静岡県) 令和5年4月17日	延長コード	T5316C01E(朝日電器株式会社ブランド: 型式WBN-S7202B(G))	大和電器株式会社(朝日電器株式会社ブランド)	(火災) 当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	○当該製品は、可動式電源プラグが他社製延長コードのマルチタップに接続された状態で、電源プラグ部が焼損していた。 ○可動式電源プラグは、片極側栓刃の可動部を中心に片極の栓刃等が焼失していた。 ○可動式電源プラグの残存していた栓刃は、可動部に異常発熱の痕跡は認められなかったが、電源コードの芯線カシメ部付近で溶融が認められた。 ○電源コード、マルチタップ部に出火の痕跡は認められなかった。 ○当該製品のマルチタップには、事故発生時、モニター、ノートパソコン用ACアダプター、電話機2台及び電気ストーブ(消費電力800W)が接続されていたが、全て使用していなかった。 ○当該製品の電源プラグが接続されていた他社製延長コードは、マルチタップの刃受金具に溶融痕等の出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、可動式電源プラグの片極の栓刃可動部で接触不良が生じて異常発熱し、出火したものと推定されるが、焼損が著しく、確認できない部品があり、詳細な使用状況が不明のため、製品起因が否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
6	A202300108 令和5年4月11日(三重県) 令和5年5月12日	携帯電話機(スマートフォン)	Redmi Note 10 JE XIG02	小米技術日本株式会社	(火災) 異音が生じたため確認すると、当該製品を焼損する火災が発生していた。	○使用者が当該製品を運動器具の上に約15cmの高さから落とすように置いてその場を離れていたところ、当該製品から異音が生じて出火した。 ○当該製品は、背面側樹脂製外郭の一部が焼失し、内蔵バッテリーが露出していた。 ○本体は、端部に打痕とみられる変形が認められたほか、画面のガラスが全体に亀裂が入っていた。 ○内蔵のリチウムポリマー電池セルは、焼損が著しく、アルミラミネートフィルム外装が開裂し、内部電極体の背面側に穴空きが認められた。 ○基板、接続端子等に、出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムポリマー電池セルが異常発熱し、出火したものと推定されるが、電池セルの焼損が著しく、事故発生以前の詳細な使用状況が不明のため、製品起因が否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
7	A202300228 令和4年7月14日(福島県) 令和5年6月20日	扇風機(充電式、携帯型)	F20	合同会社哲也	(火災) 当該製品を充電中、当該製品が焼損する火災が発生した。	○当該製品は、バッテリー一部が著しく焼損していた。 ○内蔵のリチウムイオン電池セルは、焼損が著しく、原形をとどめていなかった。 ○基板、モーターの電気部品に出火の痕跡は認められなかった。 ○当該製品は、確認できなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱し出火したものと考えられるが、焼損が著しく、当該製品を確認できなかったことから、製品起因が否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
8	A202300313 令和5年6月20日(北海道) 令和5年7月13日	延長コード	不明	株式会社オーム電機	(火災) 施設で当該製品を使用 中、当該製品及び周辺を 焼損する火災が発生し た。	○当該製品は、観賞魚用水槽の裏側に設置されており、6口のマルチタップ部には他社製の照明器具、ヒーター、エアープンプの電源プラグが接続されていた。 ○当該製品は、マルチタップ部に焼損が認められ、電源コード側付近の3口分は焼損が著しく、樹脂製外郭の大半が焼失していた。 ○外郭が焼失したタップ部の内部にある刃受金具及び配線金具の一部が欠損しており、配線金具の一部に溶融痕が認められた。 ○当該製品に接続されていた他社製電気製品の電源プラグは、溶融痕等の出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、マルチタップ内部の異極間で短絡して出火したものと推定されるが、焼損が著しく、詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
9	A202300474 令和5年8月2日(福岡県) 令和5年9月4日	冷風機	KSM25DY	株式会社広電	(火災) 店舗で異音が生じたため確 認すると、当該製品及び 周辺を焼損する火災が発 生していた。	○当該製品は、ホームセンター店舗において、屋根がある屋外に設置されていた。 ○当該製品は外観上、全体が焼損していた。 ○製品内部のファンモーター用及び圧縮機用のコンデンサーは、著しく焼損していた。 ○操作部のスイッチは著しく焼損しており、接続端子に溶融が認められた。 ○電源コード、ファンモーター、圧縮機、その他の電気部品に出火の痕跡は認められなかった。 ○当該製品は屋内専用の製品であり、取扱説明書には、「屋外では使用しない。」旨、記載されている。 ●当該製品は、製品内部の電気部品から出火した可能性が考えられるが、当該製品の焼損が著しく、詳細な使用状況が不明なことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
10	A202300534 令和5年8月4日(大分県) 令和5年9月15日	照明器具	HA8790T	松下電工株式会社(現 パナソニック株式会社)	(火災) 当該製品を使用中、当該 製品から発煙する火災が 発生した。	○当該製品は、外観上、焼損等の異常は認められなかった。 ○当該製品の安定器内部の巻線が焼損していた。 ○当該製品の詳細は確認できなかった。 ○当該製品は製造終了後、32年経過していた。 ●当該製品は、長期使用(32年以上)により、安定器内部の巻線の絶縁性能が低下したため、巻線間の一部でスパークが発生し、焼損した可能性が考えられるが、当該製品の詳細を確認できなかったことから、製品起因であるか否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
11	A202300679 令和5年9月25日(徳島県) 令和5年11月8日	IH調理器	KZ-K221C	松下電器産業株式会社 (現 パナソニック株式会 社)	(火災) 当該製品を使用後、異臭 が生じたため確認すると、当 該製品の内部部品を焼 損する火災が発生してい た。	○当該製品は外観上、外郭に傷、焼損等の異常は認められなかったが、トップレートに煮汁等の液体が付着しており、操作パネルのシートにはく離が認められた。 ○製品内部の左側IHヒーター用制御基板の一部が焼損しており、付近に液体が付着した痕跡が認められた。 ○内部の制御基板、操作基板、加熱コイル等、その他の電気部品に出火の痕跡は認められなかった。 ○当該製品は、5年前から左側IHヒーターが使えない状態であり、使用者は右側IHヒーターのみを使用していた。 ●当該製品は、操作パネルの封止部が劣化して隙間が生じたことで、料理の煮汁等の液体が内部に浸入し、制御基板に付着してトラッキング現象が発生したものとして推定されるが、事故発生以前の詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
12	A202300711 令和5年10月30日(東京都) 令和5年11月20日	IH調理器	PH23A	愛知ドビー株式会社	(火災) 当該製品をコンセントに 接続したところ、当該製品 の内部部品を焼損する火 災が発生した。	○当該製品は、本体外郭に焼損等の異常は認められなかった。 ○当該製品の内部は、電源基板上のIHコイル制御用トランジスターの一部に焼損が認められた。 ○電源基板は、ブリッジダイオードの直流端子付近に緑青等が付着しており、水分が浸入した痕跡が認められた。 ○操作基板、内部配線等、その他の電気部品等に出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、電源基板上のIHコイル制御用トランジスターが短絡し、異常発熱が生じて焼損したものと推定されるが、トランジスターの部品不良によるものか、水分の浸入によるものかが不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
13	A202300934 令和5年11月5日(北海道) 令和6年1月24日	自転車	XBC542	ブリヂストンサイクル株式 会社	(重傷1名) 当該製品で下り坂を走行 中、前輪が外れ、バラン スを崩し、転倒、負傷し た。	○当該製品は週6日程度、1日約7kmの走行に使用されていたが、これまで異常が認められたことはなかった。 ○当該製品の車輪の固定方法はクイックリリース方式であったが、使用者は前輪の取り外しを行ったことはなかった。 ○当該製品は前輪及びハンドルステムが外れた状態であり、前ホーク左右足部、前ブレーキ本体及びレバー部には傷が認められた。 ○当該製品の前ホーク左右爪部には、クイックリリースによる締付けと考えられる圧痕及び塗装のはがれが認められたが、クイックリリースの調整ナットとスプリングは回収されず、確認できなかった。 ○取扱説明書には、車輪の取り付け方及び車輪の点検方法が説明されており、「必ず、乗車直前に点検する。」旨、記載されている。 ●当該製品は、前輪のクイックリリースの固定が不十分であったため、前輪が外れて転倒した可能性が考えられるが、確認できない部品があり、事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
14	A202301015 令和6年1月6日(愛知県) 令和6年2月14日	携帯電話機(スマートフォン)	iPhone 13 Pro A2636	Apple Japan合同会社	(火災) 当該製品を焼損し、周辺 を汚損する火災が発生し た。	○当該製品は外観上、本体の前面ガラスが破損し、背面はリチウムポリマー電池セルの形に沿って焼損しており、側面の一部は開裂していた。 ○電池セルは本体前面側の焼損が著しく、内部電極体は負極箔が一部残存してほぼ焼失していた。 ○電池セルの充放電保護基板は焼損していたが、基板に局所的な穴空き等はなく、出火の痕跡は認められなかった。 ○基板及びカメラに出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムポリマー電池セルが異常発熱し、焼損したものと推定されるが、詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
15	A202301034 令和5年12月26日(愛知県) 令和6年2月19日	ジュースミキサー(充電式)	MEK-75	株式会社マクロス	(火災) 当該製品及び周辺を焼損 する火災が発生した。	○当該製品は焼損が著しく、本体の樹脂製外郭が焼損してモーター、制御基板及びリチウムイオン電池セル2個が露出していた。 ○電池セル2個は焼損し、そのうち1個は封口体が外れ、内部電極体が噴出していた。 ○制御基板は全体が焼損し、実装部品や銅箔パターンの一部が脱落していたが、局所的な焼損は認められなかった。 ○モーター、USB接続端子、USBケーブルは、焼損していたが、異常発熱した痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱して出火したものと推定されるが、電池セルの焼損が著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
16	A202301050 令和5年12月26日(広島県) 令和6年2月27日	自転車	EB40UT	ブリヂストンサイクル株式会社	(重傷1名) 使用者(80歳代)が当該製品から降りようとしたところ、シートピンが足に引っ掛かり、右足を負傷した。	○事故発生時における当該製品のシートポストの高さ及びシートピンレバーの位置は不明であった。 ○シートピンレバーは進行方向右側に取付けられていた。 ○シートピンレバー先端は樹脂キャップで覆われていた。 ○当該製品の詳細は確認できなかった。 ○取扱説明書には、「シートピンレバーは足に当たらない位置に調整する。ペダルをこいたときにレバー先端が足に当たってけがをするおそれがある。」旨、記載されている。 ●当該製品を確認できず、事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
17	A202301061 令和5年7月5日(宮城県) 令和6年2月29日	電動アシスト自転車	PA26WDX	ヤマハ発動機株式会社	(重傷1名) 当該製品で下り坂を走行中、ブレーキが利かず、転倒し、負傷した。	○使用者は当該製品を片道5kmの通学に使用していた。 ○当該製品の前ブレーキはキャリパーブレーキ、後ブレーキはローラーブレーキであった。 ○後ブレーキの周辺は汚れが認められた。 ○当該製品は確認できなかった。 ●当該製品を確認できず、事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
18	A202301151 令和6年2月4日(栃木県) 令和6年3月26日	固形燃料	なし	株式会社ニチネン	(CO中毒、死亡1名) 車両内で当該製品を使用中、一酸化炭素中毒により1名が死亡した。	○キャンプ場の駐車場に停めてあった軽自動車車内から、使用者1名が遺体で発見され、傍から使用済みの当該製品が発見された。 ○当該製品の使用状況等は確認できなかった。 ○当該製品は、缶型の容器に入れられた固形燃料に付属のごとくを取付け、直接鍋をのせて使用できるものであった。 ○事故時の車内と同容積の空間で、容器に中蓋とごとくを取付けた同等品を燃焼させた際に発生する一酸化炭素濃度を確認したところ、最大値は400ppm程度であった。 ●当該製品を密閉された車内空間で長時間燃焼させたため、一酸化炭素濃度が上昇したものと推定されるが、事故発生時の詳細な使用状況が不明なため、製品起因か否かを含め事故原因の特定には至らなかった。	
19	A202301160 令和6年2月26日(神奈川県) 令和6年3月27日	電気毛布(敷毛布)	JBS401(株式会社ライフジョイブランド)	株式会社広電(株式会社ライフジョイブランド)	(重傷1名) 当該製品を使用中、右臀部に火傷を負った。	○当該製品は、複数箇所に生地の上のしわが認められ、内部でヒーター線がループ状に重なっており、被覆が変色している箇所があった。 ○当該製品のヒーター線は、縫製された生地の縫い目による仕切りの間を通す構造で、仕切りの縫い目に糸切れ等の異常は認められなかった。 ○ヒーター線の発熱線と検知線の間は絶縁劣化してコントローラー基板の温度ヒューズが切れていたが、基板におけるヒーターの温度制御に異常は認められなかった。 ○同等品を用いてヒーター線をループ状に重ねた状態を再現して、温度設定を強にして通電した結果、毛布の表面温度が84.5℃に達した。 ○使用者は、毛布が局部的に熱くなっていることを認識しながら使用を継続していた。 ○取扱説明書及び注意チラシには、「しわができないよう1日1回は広げる。ヒーター線が重なりと高温になり火傷や故障の原因となる。ヒーター線が重なったりよじれたりした場合は使用しない。」旨、記載されている。 ●当該製品は、ヒーター線の一部がよじれてループ状に重なった状態で使用したことで、高温となった当該部分に身体の一部が接触して火傷を負ったものと推定されるが、事故発生以前の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
20	A202400043 令和6年3月14日(愛知県) 令和6年4月11日	リチウム電池内蔵充電器	I13	株式会社星テック	(火災) 当該製品を充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	○当該製品は、樹脂製外郭の大部分が焼失し、内蔵のリチウムポリマー電池セル及びワイヤレス充電用のコイルが露出していた。 ○電池セルの焼損は著しく、アルミラミネートフィルム外装は一部を残して焼失し、内部電極体が露出しており、内部電極体は負極銅箔が固着し、正極アルミ箔は焼失していた。 ○基板及びUSB接続端子は焼損していたが、局所的な焼損はなく、出火の痕跡は認められなかった。 ○ワイヤレス充電用のコイルは焼損していたが、断線はなく、出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムポリマー電池セルが異常発熱して出火したものと推定されるが、電池セルの焼損が著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
21	A202400060 令和6年3月27日(大阪府) 令和6年4月17日	電気温水器	SM-8370DH-C85	九州変圧器株式会社(現株式会社キューヘン)	(火災) 当該製品を使用中、発煙したため確認すると、当該製品の電源コード部を焼損する火災が発生していた。	○当該製品は、事故発生の6年前に発生した大規模地震の際、倒れて漏水が発生したため、破損した配管のみ補修されていた。 ○当該製品本体はブロックの上にアンカー設置なしで置かれていた。 ○当該製品は前面カバー下部が焼損しており、外郭底部の樹脂製パネルが焼失していた。 ○ヒーター通電用パワーリレーの200V電源線との接続部が著しく焼損しており、一方の締め付けボルトが焼失し、パワーリレー内部の接点が溶融していた。 ○ヒーター、変圧器、基板等の内部部品に出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、ヒーター通電用パワーリレーの電源線接続部で異常発熱し出火したものと推定されるが、地震の影響により端子接続部の緩み等が生じた可能性が考えられ、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
22	A202400061 令和6年4月2日(千葉県) 令和6年4月17日	接続ケーブル(太陽光発電システム用)	SZ-JC20(推定)	シャープ株式会社	(火災) 当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	○当該製品は延長ケーブルを介して太陽電池モジュールに接続され、棟部分に収納されていた。 ○2013年7月に太陽電池モジュールを交換し、延長ケーブルを追加する施工を事業者の関係事業者が行い、事故発生の約半年前に屋根の棟部分のリフォームをハウスメーカーが実施したが、いずれも詳細な施工状況は不明であった。 ○当該製品と延長ケーブル接続部近傍の棟周辺の屋根材が著しく焼損していた。 ○当該製品コネクター部の樹脂製外郭及び周辺の被覆は焼失し、端子は先端が欠損しており、端子表面に腐食が認められた。 ○当該製品のケーブル部分は一部、被覆が焼失していたが、断線及び溶融は認められなかった。 ○当該製品と接続されていた延長ケーブルのコネクター部は一部樹脂製外郭が焼失し、端子部が変色していた。 ○当該製品から延長ケーブルを介して接続していた太陽電池モジュールは一部が焼損していたが、局所的な穴空きは認められず、配線の断線及び端子ボックス内部の焼損は認められなかった。 ○事故発生時の当該製品のコネクター部の接続状態は確認できなかった。 ●当該製品は、当該製品と延長ケーブルのコネクター部の接触不良により異常発熱した可能性が考えられるが、焼損が著しく、詳細な施工状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
23	A202400064 令和6年1月5日(栃木県) 令和6年4月18日	マッサージ器(充電式)	JMQ-720	ソウシア商事株式会社	(火災) 当該製品を充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	○当該製品は、購入直後の初回充電時に、他社製ACアダプターに接続され、充電中に出火した。 ○当該製品は、樹脂製外郭の片側が焼損し、その反対側は一部が焼損していた。 ○本体に内蔵された2直列のリチウムイオン電池セルのうち、1個は著しく焼損して封口体が外れて電極体が放出されており、1個の電池セルは確認されなかった。 ○回路基板は焼損し部品が脱落していたが、基材の焼け抜け等、出火の痕跡は認められなかった。 ○モーター、配線類等、その他の電気部品に出火の痕跡は認められなかった。 ○当該製品の充電に使用していたACアダプターは焼損していなかったが、出力は確認できなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱して焼損したものと推定されるが、焼損が著しく、接続されていた他社製充電器による充電状況が確認できなかったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
24	A202400069 令和5年10月12日(三重県) 令和6年4月18日	自転車	ABS75	ブリヂストンサイクル株式会社	(重傷1名) 当該製品で走行中、転倒し、顎を負傷した。	○走行中にブレーキを掛けたところ、前輪が外れて当該製品が一回転したため、体ごと投げ出され、顎を打って骨折した。 ○当該製品はほぼ毎日使用されていた。 ○当該製品は事故発生後、修理業者によって修理されており、修理前の当該製品の写真はなく、詳細な修理内容は確認できなかった。 ○当該製品は確認できなかった。 ●当該製品は修理され、事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
25	A202400094 令和6年2月5日(兵庫県) 令和6年4月30日	自転車	KC27A	関西商事株式会社	(重傷1名) 雨天時に当該製品で上り坂を走行中、チェーンが外れ、転倒し、左手指を負傷した。	○当該製品に乗車して上り坂で少し立ちこぎを始めた際、当該製品のチェーンが突然外れたためバランスを崩して転倒し、左手の指を骨折したとの申出内容であった。 ○当該製品は、事故発生以前にも乗車中にチェーンが外れたことが3回あり、3回目はチェーンがかなりたるんでいたため、購入した販売店へチェーンの点検を依頼したが、チェーンは交換されておらず、点検の記録が残っていなかった。 ○当該製品は、事故発生後に事故発生場所の横にある施設へ預けられ、施設の作業員がチェーンを強く張る処置をしたため、チェーンに必要な遊びがなく、異常な張り強さになっていた。 ○当該製品の後輪をフレームに固定する「つめ」部には、後輪の固定位置が変わった複数の痕跡が認められた。 ○当該製品は、後輪固定部の緩み防止ワッシャーが表裏逆に取り付けられていたが、初期から逆であったのか、施設の作業員が処置した際に逆となったのかは、特定できなかった。 ○当該製品のチェーンは、さびが認められ、同等品に比べて周方向に9mm伸びており、横方向への振れも大きかった。 ○当該製品は、チェーン側の後輪固定部で、フレームと後側ギヤの境目の後輪軸に複数の繊維状異物(黒色に近い茶色)が巻き込まれていた。 ○取扱説明書には、「チェーンがたるんでいたら走行時に外れやすくなり危険なので、販売店で調整を受ける。」旨、記載されている。 ●当該製品は、何らかの要因でチェーンが外れやすくなっていた可能性が考えられるが、事故発生時の状態が維持されておらず不明のため、製品起因であるか否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
26	A202400107 令和6年4月20日(岐阜県) 令和6年5月7日	薪だきふろがま	CH2缶	株式会社長府製作所	(火災、死亡1名) 建物1棟を全焼、2棟を類焼する火災が発生し、1名が死亡した。	○当該製品は、全体的に著しく焼損していた。 ○前面は、焼却口周辺及び灰出口周辺が欠落していた。 ○煙突の設置状況及び事故発生時に当該製品が使用されていたかを含め、詳細な使用状況は不明であった。 ●当該製品は、前面に穴が空いた状態で使用したため、火が外部に出て、周辺の可燃物に着火した可能性が考えられるが、事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
27	A202400144 令和6年4月14日(岐阜県) 令和6年5月21日	リチウム電池内蔵充電器	S-ST921B	サンコー株式会社	(火災) 当該製品を充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	○当該製品は焼損が著しく、樹脂製外郭が焼失しており、内蔵のリチウムポリマー電池セルの内部電極体のみが残存していた。 ○電池セルの内部電極体は負極銅箔のみ残存しており、負極銅箔の一部が破れて穴空きが認められた。 ○基板及び内部配線は確認ができなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムポリマー電池セルが異常発熱して出火した可能性が考えられるが、焼損が著しく、確認できない部品があったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
28	A202400174 令和6年3月15日(千葉県) 令和6年5月28日	イヤホン(コードレス式、マイク付、リチウムポリマー バッテリー内蔵)	RTWS05	株式会社ラスタバナナ	(火災) 当該製品を充電中、異音 がしたため確認すると、当 該製品及び周辺を焼損す る火災が発生していた。	○当該製品は外観上、充電ケースの樹脂製外郭一部が焼損し穴が空いていたが、その他の箇所に破損、割れ等は認められなかった。 ○充電ケースに内蔵されていたリチウムポリマー電池セルは、アルミラミネートフィルム外装及び内部の電極体が著しく焼損していた。 ○内部の基板にはさすが付着していたが、基材の欠損、穴空きは認められなかった。 ○イヤホン2個に焼損は認められなかった。 ○事故発生時に使用されていた他社製ACアダプター及び事業者名不明のUSBケーブルに出火の痕跡は認められなかったが、他社製ACアダプターの出力電圧は確認できなかった。 ●当該製品は、充電ケースに内蔵のリチウムポリマー電池セルが異常発熱して出火したものと推定されるが、電池セルの焼損は著しく、詳細な使用状況が不明のため、製品起因が否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
29	A202400181 令和6年4月28日(千葉県) 令和6年5月30日	リチウム電池内蔵充電器	RLI050AC3A01	株式会社ラスタバナナ	(火災) 当該製品及び周辺を焼損 する火災が発生した。	○当該製品は外観上、樹脂製外郭の大部分が焼失、溶融しており、確認できた樹脂製外郭には圧痕が認められる箇所があった。 ○内蔵されているリチウムポリマー電池セル2個は膨張し、内部の電極体に欠損及び穴空きが生じて著しく焼損しており、うち1個の電池セルには圧痕が認められた。 ○メイン基板及び操作基板に出火の痕跡は認められなかった。 ○取扱説明書には、「当該製品を投げたり、衝撃を加えたりしない。」旨、記載されている。 ●当該製品は、内蔵されているリチウムポリマー電池セルが異常発熱して出火したものと推定されるが、当該製品の焼損は著しく、製品起因が否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
30	A202400189 令和6年4月14日(東京都) 令和6年5月31日	バッテリー(リチウムイオン、電動工具用)	BL1860B	株式会社マキタ	(火災) 倉庫で当該製品及び周 辺を焼損する火災が発生 した。	○事故発生場所には、当該製品及び同事業者製の別型式品の他、他社製電動工具1台、他社製バッテリー3個等があった。 ○事故発生場所から回収されたリチウムイオン電池セルはいずれも著しく焼損し、複数の電池セルで外装缶が開裂、封口体が外れる等しており、回収された電池セルが同事業者製か、他社製かの判別が困難な状態であった。 ○当該製品及び別型式品の基板は著しく焼損していた。 ○他社製電動工具1台及び他社製バッテリー3個については、焼損状況等も含めた詳細は確認できなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱して出火した可能性が考えられるが、当該製品の焼損は著しく、外部からの延焼により焼損した可能性も考えられることから、製品起因が否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	(A202400190と同一事故)
31	A202400190 令和6年4月14日(東京都) 令和6年5月31日	バッテリー(リチウムイオン、電動工具用)	BL1850B	株式会社マキタ	(火災) 倉庫で当該製品及び周 辺を焼損する火災が発生 した。	○事故発生場所には、当該製品及び同事業者製の別型式品の他、他社製電動工具1台、他社製バッテリー3個等があった。 ○事故発生場所から回収されたリチウムイオン電池セルはいずれも著しく焼損し、複数の電池セルで外装缶が開裂、封口体が外れる等しており、回収された電池セルが同事業者製か、他社製かの判別が困難な状態であった。 ○当該製品及び別型式品の基板は著しく焼損していた。 ○他社製電動工具1台及び他社製バッテリー3個については、焼損状況等も含めた詳細は確認できなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱して出火した可能性が考えられるが、当該製品の焼損は著しく、外部からの延焼により焼損した可能性も考えられることから、製品起因が否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	(A202400189と同一事故)

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
32	A202400221 令和6年5月31日(滋賀県) 令和6年6月11日	温水洗浄便座	DT-V253U	株式会社INAX(現 株式会社LIXIL)	(火災) 発煙に気づき確認すると、当該製品を焼損する火災が発生していた。	○当該製品は、外郭樹脂がわずかに変形し、裏面にすずが付着していた。 ○当該製品内部の制御基板に接続されている温風ユニットのコネクター及び温水タンクのコネクター付近が著しく焼損し、ポッティングが焼失していた。 ○制御基板は、温水タンクヒーターの銅箔パターン間(AC100V及びGND間)で焼損しており、銅箔パターンが焼失していた。 ○制御基板上の温水タンクヒーターのAC100Vにつながるピンに異常は認められなかった。 ○ポッティングの焼損部近傍に付着していた白色の物質から硫黄や塩素の成分が検出されたが、同成分の由来は特定できなかった。 ●当該製品は、制御基板上でトラッキング現象が生じて出火したものと推定されるが、事故発生以前の詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
33	A202400295 令和6年5月19日(東京都) 令和6年6月28日	リチウム電池内蔵充電器	A1246	アンカー・ジャパン株式会社	(火災) 当該製品を充電中、異音が生じたため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。	○当該製品は外観上、著しく焼損しており、樹脂製外郭が焼失していた。 ○内蔵のリチウムポリマー電池セル2個は著しく焼損しており、電極体が一部欠損し、負極板には穴空き、破損が認められた。 ○内部の基板に出火の痕跡は認められなかった。 ○内部配線は欠損して確認できなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムポリマー電池セルが異常発熱し、出火したものと推定されるが、電池セルの焼損が著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
34	A202400297 令和6年4月17日(栃木県) 令和6年7月1日	スピーカー(充電式)	A3102N14	アンカー・ジャパン株式会社	(火災) 当該製品を充電中、火災警報器が鳴動したため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。	○当該製品の樹脂製外郭は、全体的に焼損しており、内蔵のリチウムイオン電池セル2個が露出した状態であった。 ○電池セル2個は焼損しており、封口体のガス排出弁が開裂していた。 ○基板は焼損し、部品が脱落していたが、著しい焼損等の出火の痕跡は認められなかった。 ○当該製品に接続されていた付属のUSBケーブルはタイプC端子及びケーブルが焼損していたが、断線及び溶融痕等の出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱して出火したものと推定されるが、電池セルの焼損が著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
35	A202400299 令和6年5月9日(愛知県) 令和6年7月1日	冷却シート	4903301138471	ライオン株式会社	(重傷1名) 当該製品を使用したところ、皮膚障害を発症した。	○当該製品を足裏に貼付したところ、かゆみと腫れがあらわれ、患部を掻いたことで出血した。 ○当該製品は、冷却面にツボを刺激するための圧着粒が含有された足裏専用の冷却シートであった。 ○皮膚障害に関する病院の診断書は入手できておらず、症状は不明であった。 ○当該製品によるパッチテストは実施できなかった。 ○梱包の本体表示には、「使用後に発赤・かゆみ等皮膚に異常があらわれたときは直ちに使用を中止し、医師に相談する。」旨、記載されている。 ●当該製品によるパッチテストが実施できないことから、皮膚障害を発症した原因物質が特定できず、製品起因か否かを含め、事故原因の特定に至らなかった。	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
36	A202400316 令和6年6月23日(愛知県) 令和6年7月8日	リチウム電池内蔵充電器	PQ185C	森三海株式会社	(火災) 当該製品を鞆に入れていたところ、火災警報器が鳴動したため確認すると、当該製品を焼損する火災が発生していた。	○当該製品は焼損が著しく、内蔵のリチウムイオン電池セル付近の樹脂製外郭が焼失し、焼損した電池セルが脱落していた。 ○残存していた樹脂製外郭からは、直流電源基板、栓刃等が確認できたが、充放電制御基板は確認できなかった。 ○電池セル3個は焼損が著しく、アルミラミネートフィルム外装が焼失し、内部電極体は炭化していた。 ○直流電源基板は焼損し、一部の実装部品が脱落していたが、銅箔パターン等に溶融痕等の出火の痕跡は認められなかった。 ○栓刃及び金具に溶融痕等の出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱して出火した可能性が考えられるが、電池セルの焼損が著しく、詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
37	A202400317 令和5年11月12日(東京都) 令和6年7月8日	リチウム電池内蔵充電器	WKDT-083	リバープライヤージャパン合同会社(現 株式会社リバープライヤージャパン)	(火災) 当該製品を充電中、火災警報器が鳴動したため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。	○当該製品は太陽光パネルが備わったリチウム電池内蔵充電器であり、他社製ポータブル電源のUSB出力端子に接続され、太陽光パネル側を上にした状態で当該ポータブル電源の上に約8か月間置かれていた。 ○当該製品は外観上、バッテリー格納部付近の樹脂製外郭が焼損しており、側面に穴空きが生じ、太陽光パネルは嵌合部で外れていた。 ○内蔵のリチウムポリマー電池セルは、セパレーター及び正極アルミ箔が焼失し、残存した負極銅箔は著しく焼損しており、複数箇所 に破れ及び穴空きが認められた。 ○当該製品内部のその他の電気部品及び事故発生時に充電に使用していた他社製USBケーブルに出火の痕跡は認められなかった。 ○事故発生時に当該製品の充電に使用されていた他社製ポータブル電源は、当該製品が置かれていた樹脂製外郭天面が焼損、溶融して穴空きが生じていたが、その他の箇所に焼損等の異常は認められず、動作に異常は認められなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムポリマー電池セルが異常発熱し、出火したものと推定されるが、当該製品の焼損は著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
38	A202400340 令和5年11月25日(東京都) 令和6年7月12日	ヘアドライヤー	SL-013(株式会社I-neブランド)	株式会社東亜産業(株式会社I-neブランド)	(火災、軽傷1名) 宿泊施設で当該製品の電源を入れたところ、当該製品の電源コード部から火花が生じ、当該製品の電源コード部を焼損する火災が発生し、1名が火傷を負った。	○当該製品は、電源コードの本体側コードプロテクターと電源コードの接触部の片極被覆が溶融し、内部の芯線が露出して断線していた。 ○もう一方の極は、被覆は溶融していなかったが、内部の芯線が一部断線していた。 ○当該製品の電源コード全体及び本体部の外観は確認できなかった。 ○当該製品は宿泊施設に設置されており、事故発生前の電源コードの扱い方の詳細は不明であった。 ●当該製品は、本体側の電源コードプロテクター部に屈曲等の外力が加わったため、電源コードの芯線が断線して異常発熱及びスパークが発生した可能性が考えられるが、事故発生以前の詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
39	A202400358 令和6年6月9日(東京都) 令和6年7月18日	液晶テレビ	43UH6500	LG Electronics Japan株式会社	(火災) 当該製品を使用中、発煙に気付き確認すると、当該製品の内部を焼損する火災が発生していた。	○当該製品は、録画映像を見るために接続していたブルーレイレコーダーの電源を入れた30秒後に、背面付近から白煙が生じた。 ○当該製品は外観上、焼損等の異常は認められなかった。 ○当該製品内部の焼損状況等は確認できなかった。 ●当該製品は、製品内部から出火した可能性が考えられるが、当該製品の詳細が確認できず、事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
40	A202400382 令和6年7月12日(埼玉県) 令和6年7月23日	ポータブル電源(リチウムイオン)	EFDELTA1300-JP	EcoFlow Technology Japan株式会社	(火災) 駐車場で車両内に置いていた当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	○事故発生場所には、当該製品と共に同型式品がもう1台置かれており、2台ともほぼ満充電状態で車両内に置いていたところ、出火した。 ○当該製品は、樹脂部分がほぼ焼失していた。 ○当該製品内蔵の140個のリチウムイオン電池セルは著しく焼損し、ほぼ全ての電池セルに封口部の開口、外装缶の開裂、電極体の飛散が認められ、多数の電池セルの外装缶にへこみ等の変形が認められた。 ○BMS基板は、著しく焼損しており約半分が欠損していたが、残存する基材に穴空き等の異常は認められなかった。 ○その他の3枚の基板は、多数の部品が脱落していたが、基板上に局所的な穴空き等の異常は認められなかった。 ○事故発生場所にあった同型式品は、外郭等の樹脂部分がほぼ焼失しており、内蔵する複数の電池セルには外装缶にへこみ等の変形、封口部の開口、外装缶の開裂が認められた。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱して出火したものと推定されるが、当該製品の焼損が著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
41	A202400396 令和6年※月日不明(長野県) 令和6年7月26日	ラバー(卓球用)	06020	株式会社タマス	(重傷1名) 当該製品を貼り付けたラケット(卓球用)を使用していたところ、皮膚炎を発症した。	○当該製品を貼り付けたラケットを使用していたところ、皮膚炎を発症した。 ○使用者は皮膚科を受診したが、皮膚炎を発症した原因は不明であった。 ○使用者はアレルギーの既往症はなく、当該製品でのパッチテストは実施しなかった。 ○当該製品は使用者が所有しており確認できなかった。 ○取扱説明書には、「使用中に肌等に異常を感じた場合は、ただちに使用を中止する。」旨、記載されている。 ●当該製品の確認及び当該製品によるパッチテストが実施できなかったことから、皮膚障害を発症した原因物質が特定できず、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
42	A202400398 令和6年7月16日(神奈川県) 令和6年7月29日	電気洗濯乾燥機	NA-VH310L	パナソニック株式会社	(火災、軽傷1名) 当該製品を使用中、火災警報器が鳴動したため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生しており、1名が軽傷を負った。	○当該製品の焼損は著しく、正面のドア蓋、天面、左側面、底部台枠等の樹脂部品が焼失していた。 ○制御基板は汚損し、樹脂製ケースが焼損していたが、著しい焼損等の出火の痕跡は認められなかった。 ○電源コードは被覆の一部に焼損が認められたが、断線及び出火の痕跡は認められなかった。 ○操作部基板及び水位センサーは焼失し、確認できなかった。 ○排水ギヤードモーター、ヒートポンプ等、その他の電気部品に出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品の残存する電気部品に出火の痕跡は認められなかったが、焼損が著しく、確認できない部品があり、事故発生時の詳細な状況が不明であることから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
43	A202400402 令和6年6月2日(東京都) 令和6年7月29日	ヘアドライヤー	SL-013(株式会社I-neブランド)	株式会社東亜産業(株式会社I-neブランド)	(火災) 宿泊施設で当該製品を使用中、当該製品の電源コード部から火花が生じ、当該製品の電源コード部を焼損する火災が発生した。	○当該製品は、本体側の電源コードプロテクターと電源コードの接触部の片極被覆が溶け、内部の芯線が露出して断線していた。 ○当該製品の電源コード全体及び本体部の外観は確認できなかった。 ○当該製品は宿泊施設に設置されており、事故発生前の電源コードの扱い方の詳細は不明であった。 ●当該製品は、本体側の電源コードプロテクター部に屈曲等の外力が加わったため、電源コードの芯線が断線して異常発熱及びスパークが発生した可能性が考えられるが、事故発生以前の詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
44	A202400403 令和6年6月17日(東京都) 令和6年7月29日	ヘッドライヤー	SL-013(株式会社I-neブランド)	株式会社東亜産業(株式会社I-neブランド)	(火災) 当該製品を使用しようとしたところ、当該製品の電源コード部から火花が生じ、当該製品の電源コード部を焼損する火災が発生した。	○当該製品の電源コードの本体側コードプロテクターと電源コードの接触部の被覆が焼損し、芯線が露出して両極の断線及び溶融痕が認められた。 ○当該製品の電源コード全体及び本体部の外観は確認できなかった。 ○事故発生以前の当該製品の使用状況の詳細は不明であったが、電源コードを本体に巻き付けた状態でふだん、保管されていた。 ○取扱説明書には、「火災の原因になるため、電源コードを本体に巻き付けない。」旨、記載されている。 ●当該製品は、本体側の電源コードプロテクター部に屈曲等の外力が加わったため、電源コードの芯線が断線して異常発熱及びスパークが発生し、事故に至ったものと推定されるが、事故発生以前の詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
45	A202400404 令和6年6月17日(東京都) 令和6年7月29日	ヘッドライヤー	SL-013(株式会社I-neブランド)	株式会社東亜産業(株式会社I-neブランド)	(火災) 駅で当該製品を使用しようとしたところ、当該製品の電源コード部から火花が生じ、当該製品の電源コード部を焼損する火災が発生した。	○当該製品の電源コードの本体側コードプロテクターと電源コードの接触部の被覆の片極が焼損し、芯線が露出して断線し、断線部に溶融痕が認められた。 ○もう一方の極は、被覆に焼損は認められないが、芯線が一部断線していた。 ○当該製品の電源コード全体及び本体部の外観は確認できなかった。 ○事故発生以前の当該製品の使用状況の詳細は不明であったが、電源コードを本体に巻き付けた状態でふだん、保管されていた。 ○取扱説明書には、「火災の原因になるため、電源コードを本体に巻き付けない。」旨、記載されている。 ●当該製品は、本体側の電源コードプロテクター部に屈曲等の外力が加わったため、電源コードの芯線が断線して異常発熱及びスパークが発生し、事故に至ったものと推定されるが、事故発生以前の詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
46	A202400405 令和6年5月24日(東京都) 令和6年7月29日	ヘッドライヤー	SL-013(株式会社I-neブランド)	株式会社東亜産業(株式会社I-neブランド)	(火災) 当該製品を使用しようとしたところ、当該製品の電源コード部から火花が生じ、当該製品の電源コード部を焼損する火災が発生した。	○当該製品の電源コードの本体側コードプロテクターと電源コードの接触部の被覆が焼損し、芯線が露出して両極の断線及び溶融痕が認められた。 ○当該製品の電源コード全体及び本体部の外観は確認できなかった。 ○事故発生以前の当該製品の使用状況の詳細は不明であったが、電源コードを本体に巻き付けた状態でふだん、保管されていた。 ○取扱説明書には、「火災の原因になるため、電源コードを本体に巻き付けない。」旨、記載されている。 ●当該製品は、本体側の電源コードプロテクター部に屈曲等の外力が加わったため、電源コードの芯線が断線して異常発熱及びスパークが発生し、事故に至ったものと推定されるが、事故発生以前の詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
47	A202400408 令和6年7月17日(愛知県) 令和6年7月30日	リチウム電池内蔵充電器	CIO-MB20W2C-10000	株式会社CIO	(火災) 当該製品を充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	○当該製品は焼損が著しく、内蔵のリチウムイオン電池セル2個及びUSB端子が脱落していた。 ○電池セル2個は焼損が著しく、そのうち1個は、封胴体が外れて内部電極体が噴出していた。 ○USB端子に溶融等の出火の痕跡は認められなかった。 ○制御基板は確認ができなかった。 ○当該製品の充電に使用されていたUSBケーブル、ACアダプター、延長コードは焼損していたが、芯線の断線はなく、また、電気部品に出火した痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱して出火したものと推定されるが、焼損が著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
48	A202400412 令和6年7月17日(石川県) 令和6年7月30日	ラミネーター	RL-A3T(アイリス オーヤマ株式会社 ブランド)	フジブラ株式会社(現 ヒ サゴオフィスサービス株 式会社に事業移管)(アイ リスオーヤマ株式会社ブ ランド)	(火災) 当該製品を使用中、異臭 がしたため確認すると、当 該製品及び周辺を焼損す る火災が発生していた。	○使用者が当該製品の電源スイッチをオン及び温度設定つまみを最高の位置の状態で約5時間放置後、当該製品付近から出火した。 ○当該製品の樹脂製外郭は全体的に焼損しており、内部の電気部品の露出が認められた。 ○メイン基板は、焼損が著しく、基板上の複数のコンデンサーが焼失しており、確認することができなかった。 ○ヒーターの過昇防止用サーモスタットの接点に荒れはなく、接点が溶着した痕跡は認められなかった。 ○ヒーター近傍に設置されていた温度ヒューズ及びサーミスターは確認することができなかった。 ○ヒーター、モーター、操作基板等、その他の電気部品に出火の痕跡は認められなかった。 ○電源コードは、途中部に断線及び溶融痕が認められたが、断線部は通常の使用において外力が加わる位置ではなく、本体内部の焼損が著しいことから二次痕と考えられた。 ●当該製品は、内部の基板から出火した可能性が考えられるが、焼損が著しく、確認できない部品があることから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
49	A202400418 令和6年7月17日(愛知県) 令和6年7月31日	リチウム電池内蔵充電器	GH-BTM100	株式会社グリーンハウス	(火災) 当該製品を充電中、当該 製品から発煙及び発火す る火災が発生した。	○当該製品は樹脂製外郭が焼損し、内蔵された2個のリチウムポリマー電池セルの一部が露出していた。 ○電池セル2個は、アルミラミネートフィルム外装の一部が焼失し、内部電極体が焼損していた。 ○充放電制御基板はほとんど焼損しておらず、溶融痕等の出火の痕跡は認められなかった。 ○当該製品は、10回以上落下させたことがあるとの申出内容であった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムポリマー電池セルが異常発熱して出火したものと推定されるが、焼損が著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
50	A202400427 令和6年7月23日(岡山県) 令和6年8月1日	エアコン(室外機)	AE-2227PV	株式会社長府製作所	(火災) 発煙したため確認すると、 当該製品及び周辺を焼損 する火災が発生してい た。	○当該製品は、焼損が著しく、樹脂製外郭が焼失していた。 ○制御基板は、焼損が著しく、基材の一部が欠損していたほか、基板上の部品も脱落しており、確認できなかった。 ○圧縮機の端子部、ファンモーターの口出し部に溶融痕等の出火の痕跡は認められなかった。 ○当該製品の天板上に樹脂製皿を灰皿の代用として置いていたとの申出内容であった。 ●当該製品は、全体の焼損が著しく、確認できない部品があり、事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
51	A202400428 令和6年7月5日(神奈川県) 令和6年8月1日	リチウム電池内蔵充電器	DE-C44-10000	エレコム株式会社	(火災) 当該製品を充電中、異音 がしたため確認すると、当 該製品及び周辺を焼損す る火災が発生していた。	○当該製品は、内蔵のリチウムポリマー電池セル付近の樹脂製外郭が焼失し、焼損した電池セルが脱落していた。 ○電池セルは、内部電極体が著しく焼損していた。 ○制御基板の焼損は軽微であり、出火の痕跡は認められなかった。 ○当該製品は、10回以上落下させたことがあるとの申出内容であった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムポリマー電池セルが異常発熱し、出火したものと推定されるが、電池セルの焼損が著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
52	A202400432 令和6年7月3日(東京都) 令和6年8月1日	リチウム電池内蔵充電器	不明	有限会社Itempia Japan	(火災) 当該製品で爆発を伴う火災が発生した。	○火災警報器が鳴動したため、警備員が事故発生場所を確認したところ、ドアの隙間から若干の煙が見えた。 ○事故調査において、当該製品は確認できなかった。 ●当該製品の確認ができず、事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
53	A202400471 令和6年7月1日(愛知県) 令和6年8月13日	タブレット端末	iPad A1709	Apple Japan合同会社	(火災) 当該製品を充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	○棚の上に置かれていた当該製品及び他社製リチウム電池内蔵充電器が焼損していた。 ○当該製品は、液晶画面とアルミ製外郭の嵌合部の一部が開いた状態で焼損し、内蔵されたバッテリーの一部が露出していた。 ○リチウムポリマー電池セル2個のうち1個は、著しく焼損してアルミラミネートフィルム外装が開裂し、内部電極体が露出していた。 ○焼損した電池セルの内部電極体は、正極アルミ箔は最外周部を残して焼失していたが、負極銅箔は残存しており、一部に穴空きが認められた。 ○充電制御基板、メイン基板等、その他の電気部品に出火の痕跡は認められなかった。 ○他社製リチウム電池内蔵充電器は、樹脂製外郭が焼損し、内蔵のリチウムイオン電池セル2個のうち1個の焼損が著しく、封口体部に穴が空いており、内部の電極体に密度低下が認められた。 ●当該製品は、内蔵のリチウムポリマー電池セルが異常発熱して出火した可能性が考えられるが、焼損が著しく、事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	(A202400575と同一事故)
54	A202400478 令和6年7月5日(千葉県) 令和6年8月16日	リチウム電池内蔵充電器	A1263	アンカー・ジャパン株式会社	(火災) 火災警報器が鳴動したため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。	○当該製品は外観上、樹脂製外郭が著しく焼損し、原形をとどめていなかった。 ○内部の基板は、大部分の電子部品が脱落していたが、基材に穴空き等は認められず、出火の痕跡は認められなかった。 ○内蔵されていた3個のリチウムイオン電池セルは、いずれも電極体が著しく焼損していた。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱し、出火したものと推定されるが、焼損が著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
55	A202400479 令和6年7月31日(新潟県) 令和6年8月16日	エアコン	RAS-2211D	東芝ホームアプライアンス株式会社(現 東芝ライフスタイル株式会社)	(火災) 当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	○当該製品を運転中、使用者が外出していたところ、一般住宅を半焼する火災が発生した。 ○当該製品は著しく焼損していた。 ○ファンモーター及び基板に出火の痕跡は認められなかった。 ○ルーバーモーター、端子台、電源コード等の電気部品は確認ができなかった。 ●当該製品の残存する電気部品に出火の痕跡は認められなかったが、焼損が著しく、確認できない部品があったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
56	A202400493 令和6年8月10日(東京都) 令和6年8月21日	ポータブル電源(リチウムイオン)	EFDELTA1300-JP	EcoFlow Technology Japan株式会社	(火災、軽傷2名) 当該製品を充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生し、2名が軽傷を負った。	○当該製品は外観上、外郭樹脂部がほぼ焼失していた。 ○内蔵のリチウムイオン電池セルはほとんどが著しく焼損していた。 ○確認できた基板類は焼損していたが、基材に穴空き、欠損等の局所的な焼損は認められなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱して出火したものと推定されるが、当該製品の焼損は著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
57	A202400505 令和6年8月14日(滋賀県) 令和6年8月26日	扇風機	F-30Y1K	松下精工株式会社(現 パナソニック エコシステムズ株式会社)	(火災) 当該製品をコンセントに接続していたところ、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	○当該製品は、約1年前から故障のため、電源スイッチをオフにして、電源プラグをコンセントに差した状態で放置していたが、事故発生時の電源スイッチは「入」の状態であった。 ○当該製品の外観はモーター部の外装ケースが焼損し、モーター部が脱落していた。 ○モーター起動用コンデンサーが著しく焼損していたが、電極端子部に溶融痕等の異常は認められなかった。 ○モーターのローター及びシャフトは固着していたが、巻線に溶融痕等の異常は認められなかった。 ○電源コード及び電源プラグに出火の痕跡は認められなかったが、内部の電気配線が一部確認できなかった。 ○当該製品の使用期間は40年以上であった。 ○事業者は、長期使用の扇風機において、モーター、コード、コンデンサー等の電気部品の経年劣化による発火のおそれがあることから、「スイッチを入れてもファンが回らない。」等の異常があった場合は使用を停止する旨、ホームページ等で注意喚起を実施している。 ●当該製品は、内部の電気部品から出火した可能性が考えられるが、使用者が故障状態を認識しながら、電源プラグをコンセントに接続したままであったことも事故発生に影響したものと考えられ、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
58	A202400520 令和5年7月13日(山梨県) 令和6年8月28日	ポータブル電源(リチウムイオン)	IBP-500S	株式会社INBES	(火災) 作業場で当該製品に充電器を接続していたところ、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	○当該製品は、住宅兼事務所の作業場にある木製の棚の上段に置かれ、事故発生時は付属のACアダプターを接続している状態で、当該製品の近傍には他の電気製品が複数あったが、それら電気製品についての詳細及び使用状況は不明であった。 ○当該製品の焼損は著しく、樹脂製外郭が溶融して原形をとどめていなかった。 ○AC基板、BMS基板、DC基板は、焼損が著しく、複数の電子部品が脱落して欠損していたが、基材に穴空きは認められなかった。 ○LEDランプ基板は確認できなかった。 ○内蔵のリチウムイオン電池セルは全体的に焼損していた。 ○当該製品に接続されていたACアダプター、電源コード及び3口延長コードに出火の痕跡は認められなかった。 ○当該製品が置かれていた木製の棚板は上面側より下面側が著しく焼損していた。 ●当該製品は、外部からの延焼により焼損した可能性が考えられるが、焼損が著しく、確認できない部品があったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
59	A202400522 令和6年8月1日(神奈川県) 令和6年8月28日	扇風機(充電式、携帯型)	PR-F048	ライフオンプロダクツ株式会社	(火災) 当該製品が破裂し、周辺を汚損する火災が発生した。	○事故発生時、当該製品に充電ケーブル等は接続されていなかった。 ○当該製品は、樹脂製外郭に著しい焼損が認められた。 ○内蔵のリチウムイオン電池セルは、電極体に著しい焼損が認められた。 ○基板及びモーターに焼損等の異常は認められなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱し、出火したものと推定されるが、焼損が著しく、詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
60	A202400536 令和6年6月6日(大阪府) 令和6年8月30日	扇風機(充電式、携帯型)	ZFAN-190	東明JAPAN株式会社	(火災) 火災が発生し、現場に当該製品があった。	○当該製品をラックの上に置き就寝中、当該製品から出火した。 ○当該製品は、ファン部においてリチウムイオン電池セルに近い部分の外郭樹脂が焼損して、ファン部と電池セル格納部が分離していた。 ○電池セルは、内部の電極体に著しい焼損が認められた。 ○電池セル封口体付近に位置していた保護基板には焼損が認められたが、ファンモーター巻線や配線類に出火の痕跡は認められなかった。 ○購入時期や詳細な使用状況は不明であった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱して焼損したものと推定されるが、詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
61	A202400538 令和6年8月23日(静岡県) 令和6年9月2日	リチウム電池内蔵充電器	CIO-MB35W2C1A-10000-S	株式会社CIO	(火災) 車両内で当該製品で携帯電話(スマートフォン)を充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	○当該製品は、リチウムイオン電池セルが内蔵された部分の樹脂製外郭の大部分が焼失し、内部の直列接続された電池セル2個が脱落していた。 ○脱落していた電池セル2個は、いずれもアルミラミネート外装がほとんど焼失し、内部電極体は著しく焼損していた。 ○充放電制御基板に溶融痕等の出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱し、出火したものと推定されるが、焼損が著しく、詳細な使用状況等が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
62	A202400543 令和6年7月1日(東京都) 令和6年9月2日	電気掃除機(自走式)	N2	ジェンハイ株式会社	(火災) 当該製品を充電中、異音とともに当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	○当該製品は水拭き機能、自動ごみ収集ボックス付きの自走式ロボットタイプの充電式電気掃除機である。 ○当該製品は外観上、本体部に内蔵されたバッテリーが焼損しており、確認できたリチウムイオン電池セルは本体から脱落していた。 ○本体及び電池セルの詳細は確認できなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱して出火したものと推定されるが、当該製品の確認ができなかったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
63	A202400549 令和6年8月8日(東京都) 令和6年9月3日	イヤホン(コードレス式、マイク付、リチウムポリマーバッテリー内蔵)	BS79	多摩電子工業株式会社	(火災) 当該製品を充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	○当該製品はネックバンド型のワイヤレスイヤホンで、ネックバンド部の正面左側に基板を内蔵したリモコン部、正面右側にリチウムポリマー電池セルを内蔵したバッテリー部を備えている。 ○当該製品は外観上、バッテリー部が溶融して原形をとどめておらず、リモコン部においても樹脂製外郭が一部溶融していた。 ○バッテリー部に内蔵の電池セルは確認できなかった。 ○基板に焼損は認められなかったが、充放電を含む製品の動作全般を制御しているICが故障し動作しない状態となっていたが、故障の経緯は不明であった。 ○事故発生時に当該製品の充電に使用されていた他社製ACアダプターの詳細は確認できなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムポリマー電池セルが異常発熱して出火したものと推定されるが、電池セルが確認できなかったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
64	A202400561 令和6年6月25日(東京都) 令和6年9月4日	イヤホン(コードレス式、マイク付、リチウムポリマーバッテリー内蔵)	TWS03R	株式会社final	(火災) 当該製品を他社製の充電器に接続して充電中、異音とともに当該製品から発煙する火災が発生した。	○使用者は、ペットを室内で放し飼いすることが多く、ペットが当該製品本体や充電ケーブルをかむことがあった。 ○当該製品は、充電ケースの外郭樹脂表面にペットがかんだと思われる傷が多数認められた。 ○充電ケースの底部が変色し、熱変形していた。 ○充電ケース内部の電池セルが焼損し、リチウムポリマー電池セル周辺の外郭樹脂が溶融していた。 ○基板の一部は焼損していたが、焼損部に穴空き等の異常は認められなかった。 ●当該製品は、充電ケース内部のリチウムポリマー電池セルが異常発熱して焼損したものと推定されるが、事故発生以前の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
65	A202400575 令和6年7月1日(愛知県) 令和6年9月6日	リチウム電池内蔵充電器	BPD005	ベルキン株式会社	(火災) 当該製品を充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	○棚の上に置かれていた当該製品及び他社製タブレット端末が焼損していた。 ○当該製品は、内部のリチウムイオン電池セル側の樹脂製外郭が焼損し、電池セルの一部が露出していた。 ○内蔵されている2個の電池セルは、焼損が著しく、そのうち1個は封口体及び缶体側面に穴が空いていた。 ○充放電制御基板は焼損しており、実装部品の一部が脱落し、銅箔パターンの一部が溶融していたが、基材に欠損等は認められなかった。 ○ワイヤレス充電用コイル及び出入口用基板に出火の痕跡は認められなかった。 ○他社製タブレット端末は、内部のリチウムポリマー電池セル2個のうち1個の焼損が著しく、残存していた負極銅箔の一部に穴空きが認められた。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱して出火した可能性が考えられるが、焼損が著しく、事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	(A202400471と同一事故)
66	A202400577 令和6年7月29日(富山県) 令和6年9月6日	リチウム電池内蔵充電器	A1112	アンカー・ジャパン株式会社	(火災) 異音がしたため確認すると、当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生していた。	○当該製品の樹脂製外郭は、著しく焼損し、基板及びリチウムイオン電池セルの露出が認められた。 ○内蔵された電池セル2個のうち1個は、封口体が外れて電極体の一部が飛び出しており、他の電池セルも、電極体に著しい焼損が認められた。 ○基板は、穴空きやパターンの焼失等はなく、出火の痕跡は認められなかった。 ○接続されていたケーブル及び接続端子に溶融痕等の出火の痕跡は認められなかった。 ○使用者は、事故発生の2週間ほど前に、リュックの中で水筒からこぼれたお茶で当該製品をぬらしたとの申出内容であった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱して焼損したものと考えられるが、焼損が著しく、事故発生以前の詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
67	A202400581 令和6年8月29日(群馬県) 令和6年9月9日	電子レンジ	MRO-NS7	日立アプライアンス株式会社(現 日立グローバルライフソリューションズ株式会社)	(火災) 当該製品を焼損する火災が発生した。	○当該製品は、事故発生日、使用されていなかった。 ○当該製品は、正面、天面及び右側面前側の焼損が著しく、底面の正面側も焼損しており、左側面は正面下部の一部が焼損し、天面には焼残物が付着していた。 ○正面扉下部の樹脂部品は焼失し、操作パネルは焼損して本体から脱落していた。 ○インバーター基板、電源基板は著しく焼損し、基材等の一部が確認できなかった。 ○電源プラグ及びコードに出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品の焼損は著しく、確認できない部品があったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
68	A202400609 令和6年8月22日(宮城県) 令和6年9月17日	電動アシスト自転車	AB-224EA-WH	株式会社Luup	(火災) 駐輪場で当該製品の一部を焼損する火災が発生した。	○当該製品は、バッテリー搭載部を中心に焼損していた。 ○バッテリーは焼損が著しく、上部の樹脂製外郭が焼失していた。 ○バッテリーに内蔵されているリチウムイオン電池セル39個のうち18個が確認できなかった。 ○確認ができた電池セルは、焼損が著しく、一部の電池セルの内部電極体が飛び出して焼損していた。 ○バッテリーの制御基板は、焼損が著しく、部品の脱落や基材の欠損が認められた。 ○本体の自転車部及び本体のバッテリーの端子部は、原形をとどめており、出火した痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、バッテリーに内蔵されたりチウムイオン電池セルが異常発熱して焼損したものと推定されるが、電池セルの焼損が著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
69	A202400614 令和6年6月30日(滋賀県) 令和6年9月18日	バッテリー(リチウムイオン、電動工具用)	BL1860B	株式会社マキタ	(火災) 倉庫で当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	○現場には、当該製品、別型式のバッテリー2個及び非純正バッテリー4個があった。 ○当該製品は外郭樹脂が焼失しており、内蔵のリチウムイオン電池セル10個のうち、5個の電池セルは特定することができたが、特定できた電池セルにはいずれも著しい焼損が認められた。 ○制御基板は確認できなかった。 ○別型式バッテリー及び非純正バッテリーの電池セルは著しく焼損していた。 ○非純正バッテリーの輸入事業者等は不明であった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルの焼損が著しく、非純正バッテリーからの延焼により焼損した可能性も考えられ、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	A202400615と同一事故)
70	A202400615 令和6年6月30日(滋賀県) 令和6年9月18日	バッテリー(リチウムイオン、電動工具用)	BL1830	株式会社マキタ	(火災) 倉庫で当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	○現場には、当該製品を含む同型式のバッテリー2個、別型式のバッテリー1個及び非純正バッテリー4個があった。 ○当該製品含む2個のバッテリーはいずれも外郭樹脂が焼失しており、2個のバッテリーに内蔵されたりチウムイオン電池セル合計20個のうち、12個の電池セルは特定することができたが、特定できた電池セルにはいずれも著しい焼損が認められた。 ○制御基板はいずれも確認できなかった。 ○別型式バッテリー及び非純正バッテリーの電池セルは著しく焼損していた。 ○非純正バッテリーの輸入事業者等は不明であった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルの焼損が著しく、非純正バッテリーからの延焼により焼損した可能性も考えられ、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	(A202400614と同一事故)
71	A202400620 令和6年9月7日(神奈川県) 令和6年9月19日	携帯ゲーム機	HDH-001	任天堂株式会社	(火災) 当該製品を充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	○事故発生時、使用者は当該製品を居家で充電したまま外出していた。 ○当該製品は著しく焼損し、樹脂製外郭が焼失しており、内蔵の電気部品が露出していた。 ○コントローラー基板は確認できなかった。 ○内蔵のリチウムイオン電池セルは焼損し、上部に開裂が認められた。 ○メイン基板上のUSB Type-C端子は確認できなかったが、メイン基板及び隣接するアルミシールドに穴空き及び変形は認められなかった。 ○バッテリー保護基板等のその他の電気部品に出火の痕跡は認められなかった。 ○ACアダプターは樹脂製外郭が溶融し、DCコード先端のUSB Type-C端子部周辺が確認できなかったが、断線部に溶融痕は認められず、電源基板基材の欠損及び栓刃の変色等の異常は認められなかった。 ○ACアダプターに接続されていた事業者名、型式等不明の延長コードは樹脂製外郭及び電源コードの被覆の一部が溶融し、電源コードの1か所で半断線しており、芯線の両極に溶融痕が認められた。 ●当該製品は、焼損が著しく、確認できない部品があったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
72	A202400626 令和6年8月23日(東京都) 令和6年9月20日	IH調理器	SIH-C224A	三化工業株式会社	(火災) 当該製品の上に置いていた可燃物及び周辺を焼損する火災が発生した。	○使用者の外出中、当該製品の付近に置かれていた樹脂製の容器などの可燃物が焼損した。 ○当該製品はトッププレートの子ジエントヒーター周辺部及び操作部付近で可燃物の付着及び受熱の痕跡が認められた。 ○基板、ヒーター等の当該製品内部の電気部品に出火の痕跡は認められなかった。 ○子ジエントヒーターの動作を確認したところ、異常は認められなかった。 ○取扱説明書には、「燃えやすいものをヒーターの上やそばに絶対に置かない。」旨、記載されている。 ●当該製品のスイッチが意図せず入ったため、子ジエントヒーターが通電状態となり、上に置いていた可燃物が焼損した可能性が考えられるが、事故発生時の詳細な状況等が不明であり、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
73	A202400636 令和6年9月6日(静岡県) 令和6年9月24日	変圧器	FJ-E04N4	松下精工株式会社(現 パナソニック エコシステムズ株式会社)	(火災) 異臭がしたため確認すると、当該製品を焼損する火災が発生していた。	○当該製品は、金属製外郭に焼損は認められなかったが、配線引込み口の穴にすすが付着していた。 ○本体内部は、配線接続部、スイッチ及び内部配線に出火の痕跡は認められなかったが、トランスに焼損が認められた。 ○トランスは巻線が焼損していたが、レイヤショート痕跡は認められなかった。 ○制御基板に出火の痕跡は認められなかったが、トランス巻線につながる電流ヒューズ4個のうち、2個が切れていた。 ○トランス巻線への電流を制御するフォトライアック4個のうちの1個に動作不良が認められた。 ●当該製品は、トランスの巻線への電流を制御するフォトライアックに動作不良が生じたため、巻線に過電流が流れて異常発熱し、焼損したものと推定されるが、動作不良した原因が不明であり、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
74	A202400646 令和6年9月13日(東京都) 令和6年9月26日	エアコン(可搬型)	IPP-2224S	アイリスオーヤマ株式会社	(火災) 当該製品を使用中、異臭がしたため確認すると、当該製品を焼損する火災が発生していた。	○当該製品の樹脂製外郭は大部分が焼失していた。 ○電源コード及び電源プラグは焼損して、樹脂製部材の一部が焼失していたが、溶融痕等の出火の痕跡は認められなかった。 ○ファンモーター、電源基板、コンデンサー及び操作基板に出火の痕跡は認められなかった。 ○ポンプモーター、受信基板、サーミスター等の詳細は確認できなかった。 ○事故発生場所には当該製品の他に複数の電気製品があったが、焼損状況も含めた詳細は確認できなかった。 ●当該製品の焼損は著しく、確認できない部品があったこと及び外部からの延焼の可能性も考えられることから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
75	A202400651 令和6年8月3日(愛知県) 令和6年9月27日	リチウム電池内蔵充電器	A1217	アンカー・ジャパン株式会社	(火災) 火災警報器が鳴動したため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。	○当該製品は樹脂製外郭が焼損し、内蔵のリチウムポリマー電池セル及び充放電制御基板が露出していた。 ○充放電制御基板は焼損し、実装部品の一部が脱落していたが、局所的な焼損や溶融痕等の出火の痕跡は認められなかった。 ○電池セルは膨張及び焼損しており、アルミラミネートフィルム外装の接合部が開いていた。 ○電池セルの内部電極体は焼損が著しく、負極銅箔は残存していたものの、正極アルミ箔は最外周部以外が焼失していた。 ●当該製品は、内蔵のリチウムポリマー電池セルが異常発熱し、出火したものと推定されるが、電池セルの焼損が著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
76	A202400660 令和5年7月3日(大阪府) 令和6年10月1日	バッテリー(リチウムイオン、電動アシスト自転車用)	BTS-GX-05	潤天株式会社(現 株式会社弘進)	(火災) 事務所で当該製品を充電中、火災警報器が鳴動したため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。	○当該製品事業者の従業員が充電不良で預かっていた当該製品を事務所で充電していたところ、当該製品から出火した。 ○当該製品は著しく焼損して樹脂製外郭が焼失しており、内蔵されたリチウムイオン電池セルのみが確認された。 ○電池セルは全体的に焼損し、一部の電池セルにおいて外装缶の開裂が認められた。 ○当該製品に内蔵された充放電を制御するためのBMS基板は確認できなかった。 ○当該製品に接続されていたACアダプターは、当該製品専用の42V出力ではなく、同事業者の旧型品用の54.6V出力のACアダプターであった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱して出火したものと推定されるが、電池セルの焼損が著しく、事故発生以前の詳細な状況も不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
77	A202400672 令和6年9月14日(埼玉県) 令和6年10月2日	ポータブル電源(リチウムイオン)	EFDELTA1300-JP	EcoFlow Technology Japan株式会社	(火災) 駐車場で車両内に置いていた当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	○当該製品は、充電、給電をせずに駐車場で車両内の助手席床に置いていたところ、出火した。 ○当該製品は、上部の外郭の樹脂部分が一部溶融し、内蔵の140個の円筒形リチウムイオン電池セルはいずれも著しく焼損していた。 ○確認できた基板類は焼損していたが、基材に穴空き、欠損等の局所的な焼損は認められなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱して出火したものと推定されるが、当該製品の焼損は著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
78	A202400694 令和6年9月20日(東京都) 令和6年10月7日	タブレット端末	ZA5G0014JP	レノボ・ジャパン合同会社	(火災) 当該製品を焼損する火災が発生した。	○当該製品は、表示画面部分と基板側部分の嵌合が外れて破損していた。 ○金属製外郭の背面から見て右上角に打痕が認められたが、打痕がついた経緯を含め、詳細な使用状況は特定できなかった。 ○バッテリーは、上側のフィルム外装が焼損して開口し、内部の保護回路基板が露出して電極体が膨張、焼損していた。 ○リチウムポリマー電池セル内部の電極体は全体が焼損し、背面から見て右上側の角に穴空きが認められ、当該箇所から放射状にしわが生じていた。 ○保護回路基板は焼損していたが、基材に穴空き、欠損は認められなかった。 ○メイン基板及びその他の電気部品に出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムポリマー電池セルが異常発熱して出火したものと推定されるが、当該製品の焼損は著しく、詳細な使用状況も不明なことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
79	A202400696 令和6年8月20日(滋賀県) 令和6年10月7日	水槽用ろ過器	簡単ラクラクパワーフィルターM (ジェックス株式会社ブランド)	ジェックスインターナショナル株式会社(ジェックス株式会社ブランド)	(火災) 学校で当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	○当該製品は、本体部の樹脂が著しく溶融、焼損して、炭化していた。 ○モーターは焼損していたが、巻線に溶融等の出火の痕跡は認められなかった。 ○電源コードは、本体側から20cmの箇所で断線し、断線部に溶融痕が認められたが、断線部から本体側の部分は確認できなかった。 ○電源コードとモーター巻線を接続する金属端子、はんだ付けに溶融等の異常は認められなかった。 ○当該製品は、数年前から連続運転状態であったとの申出内容であった。 ●当該製品は、電源コードが断線して出火したものと推定されるが、本体側のコードが確認できず、事故発生以前の詳細な使用状況も不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
80	A202400705 令和6年9月8日(神奈川県) 令和6年10月9日	リチウム電池内蔵充電器	EX-EMB-C2500	ハート電機サービス株式会社	(火災) 当該製品で携帯電話機(スマートフォン)を充電中、異音とともに当該製品から発煙する火災が発生した。	○当該製品の樹脂製外郭は焼損、溶融していた。 ○当該製品に内蔵されたリチウムポリマー電池セルは焼損し、膨張していた。 ○基板は、焼損していたが電子部品の脱落、断線はなく、基材の穴空き、欠損等の異常も認められなかった。 ○同等品1個を確認したところ、内蔵された電池セルは、電極体の巻きずれが認められた。 ○当該製品は、事故発生以前に何度か落下したことがあり、正常に充電できないことがあったため、一定期間使用していなかったとの申出内容で、再び使用開始してから約10日後に出火した。 ○取扱説明書には、「本製品を落としたり、強い衝撃を与えない。」旨、記載されている。 ●当該製品は、内蔵のリチウムポリマー電池セルが異常発熱し出火したものと推定されるが、焼損が著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
81	A202400707 令和6年8月20日(東京都) 令和6年10月9日	ヘアアイロン(充電式)	NUK-001	株式会社サンライズ	(火災) 当該製品を充電中、異臭がしたため確認すると、当該製品を焼損する火災が発生していた。	○当該製品は、他社製ACアダプター及び付属のUSBケーブルを接続して充電していたところ、USBコネクタ部が焼損していた。 ○当該製品は外観上、USBコネクタ部周辺の樹脂製外郭が焼損しており、コネクタ部には、接続していたUSBケーブルのコネクタ部が脱落して残存していたが、その他の箇所に焼損等の異常は認められなかった。 ○内部基板はコネクタ部付近において、焼損が認められたが、コネクタ接続部分の詳細は確認できず、その他の箇所に焼損等の異常は認められなかった。 ○本体に内蔵されているリチウムイオン電池セル及び内部配線に焼損等の異常は認められなかった。 ○当該製品に接続されていた付属USBケーブルは、USBプラグ先端のコネクタ部が脱落して、周囲の樹脂製外郭が焼損、溶融していたが、コードの断線等の異常は認められなかった。 ○当該製品に接続されていた他社製ACアダプターに焼損等の異常は認められなかった。 ●当該製品のコネクタ部とUSBケーブルの接続部分で異常発熱が生じて焼損したものと推定されるが、接続箇所の詳細を確認できなかったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
82	A202400718 令和6年2月16日(神奈川県) 令和6年10月10日	リチウム電池内蔵充電器	BT5K-1	株式会社バイナル	(火災) 飲食店で当該製品を充電中、当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。	○当該製品は、詳細が確認できなかった。 ○内蔵のリチウムポリマー電池セルは焼損していた。 ○外観の状態、制御基板等の電気部品の状態は不明であった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムポリマー電池セルから出火した可能性が考えられるが、当該製品の詳細が確認できなかったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
83	A202400720 令和6年9月6日(福岡県) 令和6年10月11日	靴(ラグビー用)	1111A179	株式会社アシックス	(重傷1名) 競技場で当該製品を履いてラグビーをしていたところ、右膝を負傷した。	○当該製品を履いてラグビーの試合中、左足靴底のスタッド(突起)が欠損し、その影響で右膝のじん帯を損傷したとの申出内容であった。 ○試合中にスタッドが破損寸前であることを認識していたものの、そのまま試合を続けた結果、左足靴底のスタッドが欠損し、タックル時に左足で踏ん張れず右膝に不調を覚え、急な方向転換時には左足が滑ったことで右膝が内側に曲がったとの申出内容であった。 ○当該製品は、左足靴底のスタッドの1か所でナイロン樹脂部に亀裂が発生し、スタッドが欠損していた。 ○右足靴底に異常は認められなかった。 ○当該製品と同等品で靴底の材質や硬度に差異は認められなかった。 ●当該製品は、左足靴底のスタッドが破損寸前であることを使用者が試合中に認識したものの、使用を続けたため、スタッドが破損し、バランスが崩れて右膝を負傷した可能性が考えられるが、事故発生時の詳細な状況が不明であるため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
84	A202400735 令和6年9月11日(東京都) 令和6年10月16日	LEDヘッドライト(リチウムポリマー、充電式)	HLP-2102	ジェントス株式会社	(火災) 事務所でテーブルに置いていた当該製品のバッテリーを焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。	○当該製品を他社製ACアダプターに接続して充電した後、バッテリーを本体から取り外してテーブルの上に置いていたところ、バッテリーから発煙して出火した。 ○当該製品は、本体に焼損等の異常は認められなかった。 ○内蔵のリチウムポリマー電池セルは、内部の電極体が著しく焼損していた。 ○当該製品の充電に使用していたACアダプター及びUSBケーブルに焼損は認められず、動作に異常は認められなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムポリマー電池セルが異常発熱して出火したものと推定されるが、電池セルの焼損が著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
85	A202400736 令和6年9月25日(静岡県) 令和6年10月16日	ノートパソコン	20FCCT01WW	レノボ・ジャパン株式会社 (現: レノボ・ジャパン合同会社)	(火災) 当該製品を充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	○当該製品は焼損が著しく、内蔵バッテリー付近の樹脂製外郭が焼失していた。 ○バッテリーのリチウムポリマー電池セルは焼損が著しく、内部電極体の一部が焼失していた。 ○バッテリーの充放電制御基板は、すすの付着が認められたが、銅箔パターンに溶融痕等の出火の痕跡は認められなかった。 ○本体の基板は焼損していたが、基材の欠損等はなく出火の痕跡は認められなかった。 ○当該製品の近くで充電していた他社製リチウム電池内蔵充電器は焼損が著しく、基板等の電気部品は確認できなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムポリマー電池セルが異常発熱して出火した可能性が考えられるが、電池セルの焼損が著しく、事故発生時の詳細な状況等が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	(A202400880と同一事故)
86	A202400743 令和6年9月10日(大阪府) 令和6年10月17日	リチウム電池内蔵充電器	A1263	アンカー・ジャパン株式会社	(火災) 当該製品を充電中、異音が生じたため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。	○当該製品の樹脂製外郭は中央部が溶融し、分裂していた。 ○内蔵のリチウムイオン電池セル3個はいずれも外装フィルムが焼失しており、うち2個については内部の電極体の大半が焼失していた。 ○基板に出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱し、出火したものと推定されるが、電池セルの焼損は著しく、事故発生以前の詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
87	A202400748 令和6年10月10日(和歌山県) 令和6年10月22日	エアコン	F56XTRXP(推定)	ダイキン工業株式会社	(火災) 店舗で建物を全焼する火災が発生し、現場に当該製品があった。	○事故発生当時、当該製品は使用されていなかった。 ○当該製品の焼損は著しく、金属製の遮蔽板、銅配管の一部及び内部配線の一部のみ回収された。 ○内部配線の断線部に溶融痕が認められ、溶融痕の位置は金属製遮蔽板内の常時電圧が印加される部分であった。 ○基板、モーター等、その他の電気部品は確認できなかった。 ●当該製品の焼損は著しく、事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
88	A202400764 令和6年9月22日(岡山県) 令和6年10月24日	スピーカー(充電式)	CHARGE2 PLUS	ハーマンインターナショナル株式会社	(火災) 当該製品を充電中、発煙とともに当該製品内部を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。	○当該製品は、台所の窓枠の上に置いた状態で充電していたところ、製品本体から発煙が発生していた。 ○本体の樹脂製外郭背面側が開裂しており、内部の樹脂製バッテリーカバーは焼損し、内蔵のリチウムポリマー電池セルが露出していた。 ○電池セルの焼損は著しく、負極銅箔のみが残存していた。 ○制御基板、操作基板、入出力基板、スピーカー等のその他の電気部品に焼損等の出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムポリマー電池セルが異常発熱し、出火したものと推定されるが、製品起因か否かを含め、電池セルが異常発熱した原因の特定には至らなかった。	
89	A202400766 令和6年9月27日(大阪府) 令和6年10月25日	スピーカー(充電式)	JBL FLIP6	ハーマンインターナショナル株式会社	(火災) 当該製品を充電中、火災警報器が鳴動したため確認すると、当該製品から発煙し、周辺を汚損する火災が発生していた。	○使用者は普段、当該製品を風呂場で使うこともあったが、水没に注意していたとのことであり、海での使用や落下等をさせたこともなかったとの申出内容であった。 ○当該製品は、本体外郭が熱により変形し、バッテリー近傍部の側面が焼失していた。 ○バッテリーに内蔵されたリチウムイオン電池セル2個は、外装缶に膨張及び開裂が認められ、そのうち1個の電池セルで電極体が飛び出していた。 ○電池セル缶体側面に微細な穴が認められた。 ○バッテリー保護基板、制御基板等、その他の電気部品に出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱し、出火したものと推定されるが、電池セルの焼損が著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
90	A202400769 令和6年10月18日(兵庫県) 令和6年10月25日	エアコン(室外機)	SRC22TS	三菱重工業務株式会社(現三菱重工サーマルシステムズ株式会社)	(火災) 当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	○事故発生当時、当該製品は運転状態ではなかった。 ○当該製品は全体的に著しく焼損し、ファン等の樹脂部品が焼失していた。 ○端子盤の接続部に異常は認められず、接続された内外連絡線と内部配線に断線や溶融痕は認められなかった。 ○制御基板は著しく焼損しており、基材の穴空き及び銅箔パターンの断線が認められ、基板上の圧縮機制御用パワーモジュール内部の電子部品が溶融していた。 ○圧縮機、リアクトル、四方弁、ファンモーター等、その他の電気部品に出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、制御基板上の圧縮機制御用パワーモジュール付近の焼損が著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
91	A202400770 令和6年10月13日(島根県) 令和6年10月25日	電気冷蔵庫	MR-2702XA	三菱電機株式会社	(火災) 当該製品を焼損する火災が発生した。	○当該製品は、事故発生の1か月前から冷却しない不具合が発生した状態で使用されていた。 ○当該製品は、背面カバー及び断熱材に焼損が広がっていたが、前面及び庫内に焼損は認められなかった。 ○背面下部にある機械室は、電装部付近の焼損が著しく、圧縮機付近に焼損は認められなかった。 ○電装部の焼損は著しく、メイン基板の一部が焼失していたほか、内部配線が断線しており、断線部に溶融痕が認められた。 ○電源コードは、焼損していなかったが、絶縁被覆の一部に損傷が認められた。 ○使用者から小動物(ねずみ)が出たことがあるとの申出内容であった。 ●当該製品は、内部配線が断線し出火した可能性が考えられるが、詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
92	A202400771 令和6年10月14日(三重県) 令和6年10月25日	照明器具(投光器、充電式)	YC-16T	株式会社グッド・グッズ	(火災) 当該製品を充電中、異音 がしたため確認すると、当 該製品を焼損する火災が 発生していた。	○当該製品は、焼損が著しく、内蔵のリチウムイオン電池セル4個のうち、2個は脱落し、USB出力基板及びLED制御基板が露出して いた。 ○脱落した2個の電池セルは焼損が著しく、缶体には穴が空き、内部電極体が焼損していた。 ○充電保護基板は確認できなかった。 ○USB出力基板及びLED制御基板は焼損していたが、銅箔パターンに溶融痕等の出火の痕跡は認められなかった。 ○充電に使用されていた付属のACアダプターに出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱して出火したものと推定されるが、電池セルの焼損が著しく、事故発生 以前の使用状況が不明なことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
93	A202400830 令和6年10月27日(北海道) 令和6年11月12日	延長コード	4549131677843	株式会社大創産業	(火災) 当該製品に電気製品を接 続していたところ、当該製 品及び周辺を焼損する火 災が発生した。	○当該製品は、電源スイッチ付3口延長コードで、事故発生時、電源プラグはコンセントに接続されていた。 ○当該製品の本体部は、タップの電源スイッチ部及び近傍の電源コードプロテクター部が著しく焼損しており、電源スイッチ部のオン オフの状態は確認できなかった。 ○スイッチ内部の可動接点部分の金属板に一部溶融が認められたが、各接点及び接続端子は確認できなかった。 ○電源コードは、タップ側が焼損して一部が断線しており、断線部には溶融痕が認められた。 ●当該製品は、タップの電源スイッチ部で異常発熱し、出火した可能性が考えられるが、焼損が著しく、確認できない部品があったこ とから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
94	A202400833 令和6年11月6日(兵庫県) 令和6年11月13日	リチウム電池内蔵充電器	C1003	明誠株式会社	(火災) 当該製品でタブレット端末 を充電後、当該製品を焼 損する火災が発生した。	○使用者は、当該製品が膨張していることに気がついたため、両手で当該製品に圧力を掛けたとところ白煙が噴出した。 ○メイン回路基板の銅箔パターンに出火の痕跡は認められなかった。 ○内蔵のリチウムイオン電池セル2個は著しく焼損していた。 ○充電時に使用していたUSBケーブルプラグの端子部に異常発熱した痕跡は認められなかった。 ○当該製品を事故発生以前に数回落としたことがあった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱し、出火したものと推定されるが、電池セルの焼損が著しく、製品起因か 否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
95	A202400847 令和6年11月1日(福岡県) 令和6年11月15日	携帯電話機(スマートフォン)	XT2095-3	モトローラ・モビリティ・ ジャパン合同会社	(火災) 飲食店で当該製品を鞆に 入れていたところ、当該製 品を焼損する火災が発生 した。	○事故発生時、当該製品は、鞆内に保管しており、充電等は行っていなかった。 ○当該製品の樹脂製外郭は、内蔵のリチウムイオン電池セル付近の焼損が著しく、電池セルが露出していた。 ○残存していた樹脂製外郭部に、傷や破損等の痕跡は認められなかった。 ○電池セルの内部電極体は、焼損が著しく、負極銅箔のみが残存していた。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱して出火したものと推定されるが、電池セルの焼損が著しく、製品起因 か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
96	A202400848 令和6年3月27日(神奈川県) 令和6年11月18日	清掃用具	20243597	イケア・ジャパン株式会社	(重傷1名) 店舗で当該製品を手に持っていたところ、誤って落下した当該製品の金属パーツが、同行者の右手手のひらに当たり負傷した。	○店舗にて当該製品を手に取ったところ、誤って当該製品を落下させたため、同行者が右手を出した際に、当該製品の金属パーツの角が手のひらに当たり、裂傷を負った。 ○当該製品は、ゴム製のブレード部分を金属製の部品で固定し、樹脂製の持ち手が接続されたスクイージーである。 ○当該製品は、確認できなかった。 ●当該製品の確認ができず、事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
97	A202400849 令和6年10月29日(大阪府) 令和6年11月18日	照明器具(充電式)	LMT-7W-CH	日動工業株式会社	(火災) 当該製品を充電中、当該製品から発煙する火災が発生した。	○当該製品は、外観上著しく焼損していた。 ○本体内部のリチウムイオン電池セルが焼損し、4個のうち3個は封口体が開いた状態で、内部の電極体は噴出して著しく焼損していた。 ○充放電制御基板は確認できなかった。 ○当該製品は、ふだんは車内に保管しており、これまでに当該製品を落下させたことがあった。 ●当該製品は、内蔵されたリチウムイオン電池セルが異常発熱して出火したものと推定されるが、焼損が著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
98	A202400860 令和6年6月26日(東京都) 令和6年11月20日	リチウム電池内蔵充電器	OSM-5000P	株式会社ユベンディ	(火災) 当該製品を紙袋に入れていたところ、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	○当該製品を入れていた紙袋付近には複数の電気製品が置かれていた。 ○当該製品は、確認できなかった。 ○当該製品付近にあった複数の電気製品は、焼損状況を含め、詳細を確認できなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱して出火したものと推定されるが、当該製品の確認ができなかったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
99	A202400873 令和6年11月8日(神奈川県) 令和6年11月25日	キッチンボード	ウワダイリガーレKB	株式会社ニトリ	(火災) 当該製品に接続していた電気製品を使用中、当該製品の電源のコンセントと電気製品の電源プラグの接続部を溶融する火災が発生した。	○当該製品のコンセントは、刃受金具の周辺が焼損し、刃受金具は両極共に変色していた。 ○当該製品に接続されていた他社製の電気製品の電源プラグは、樹脂が一部溶融、焼損して下向きに傾いており、上側に挿入されていた極の栓刃に変色が認められたが、栓刃に湾曲及び変形は認められなかった。 ○コンセント内部のカシメ部等、その他の電気部品に焼損等の出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、栓刃と刃受金具との間で接触不良が生じたため、異常発熱し、焼損した可能性が考えられるが、詳細な使用状況が不明であり、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	(A202400871と同一事故)

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
100	A202400874 令和6年10月21日(東京都) 令和6年11月25日	スピーカー(マイク付、充電式)	A3305	アンカー・ジャパン株式会社	(火災) 店舗で当該製品を充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	○当該製品は外観上、樹脂製外郭側面の一部が溶融していた。 ○内蔵のリチウムイオン電池セル2個のうち、1個は外装フィルムの焼失及び内部電極体の著しい焼損が認められたが、残りの1個は焼損しておらず、電圧も測定可能であった。 ○内蔵基板は焼損していたが、基材の穴空き、欠損等の局所的な焼損は認められなかった。 ○事故発生時、当該製品に接続されていた他社製ACアダプター及び他社製USBケーブルは確認できなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱して焼損したものと推定されるが、電池セルの焼損は著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
101	A202400880 令和6年9月25日(静岡県) 令和6年11月27日	リチウム電池内蔵充電器	PST-60C2PB	MATECH株式会社	(火災) 当該製品を充電中、当該製品及び周辺焼損する火災が発生した。	○当該製品は、壁コンセントに接続し、充電をしていた。 ○当該製品は焼損が著しく、樹脂製外郭の一部のみが残存していた。 ○内蔵のリチウムイオン電池セル、基板等の全ての電気部品が確認できなかった。 ○当該製品の近くで充電していた他社製ノートパソコンは焼損が著しかった。 ●当該製品は焼損が著しく、電気部品の確認ができず、事故発生時の詳細な状況が不明であったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	(A202400736と同一事故)
102	A202400889 令和6年11月3日(神奈川県) 令和6年12月2日	スピーカー(充電式)	A3117	アンカー・ジャパン株式会社	(火災) 当該製品を充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	○当該製品は外観上、樹脂製外郭の大半が焼失していた。 ○内蔵のリチウムイオン電池セル2個はいずれも著しく焼損しており、封口体が外れていた。 ○基板類は焼損していたが、基材に穴空き、欠損等の局所的な焼損は認められなかった。 ○当該製品に接続されていた事業者名、型式等不明のUSBケーブルに出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱して焼損したものと推定されるが、電池セルの焼損は著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
103	A202400897 令和6年11月※日不明(愛知県) 令和6年12月3日	延長コード	E5018	大和電器株式会社	(火災) 工場でコンセントに接続していた当該製品にマルチタップを接続していたところ、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	○当該製品は、マルチタップが接続されたコードコネクタボディ部及び電源コードの被覆の一部が焼損していた。 ○電源コードに断線、溶融痕等の出火の痕跡は認められなかった。 ○コードコネクタボディ部は樹脂製外郭の一部が炭化し、差込口は著しく焼損していた。 ○コードコネクタボディ部の内部は、刃受金具がほぼ溶融、焼失しており、芯線を刃受金具に固定するカシメ部は両極共に焼失していた。 ○当該製品に接続されていたマルチタップは、栓刃が両極とも溶融し、片極は半分ほど焼失していたが、栓刃可動部及び刃受金具に異常発熱した痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、コードコネクタボディ内部で異常発熱が生じ、出火したものと推定されるが、焼損が著しく、確認できない部品があったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	(A202400898と同一事故)

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
104	A202400920 令和6年10月15日(沖縄県) 令和6年12月9日	リチウム電池内蔵充電器	A1268	アンカー・ジャパン株式会社	(火災) 施設内で当該製品を充電中、異音とともに当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	○当該製品は、施設内で不特定多数が使用する共用の車いすに設置されていたファンの電源用として使われていた。 ○当該製品の焼損は著しく、樹脂製外郭はほとんど焼失していた。 ○内蔵のリチウムポリマー電池セルは、焼損、膨張及び開裂しており、内部の電極体を確認したところ、正極アルミ箔とセパレーターが焼失していた。 ○内部基板に部品の脱落等の出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムポリマー電池セルが異常発熱し、出火したものと推定されるが、電池セルの焼損が著しく、詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
105	A202400925 令和6年11月14日(兵庫県) 令和6年12月10日	バッテリー(リチウムイオン、電動工具用)	BL1815G	株式会社マキタ	(火災) 倉庫で当該製品を保管中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	○当該製品は、事故発生の数日前に使用し、その後は収納ケースに入れて保管していたところ、周辺を含めて焼損した。 ○当該製品の焼損は著しく、樹脂製外郭が焼失して、内蔵のリチウムイオン電池セルと制御基板が焼損していた。 ○電池セルの電極体は焼損し、複数の電池セル外装缶の封口体が外れていた。 ○制御基板に出火の痕跡は認められなかった。 ○当該製品を保管していた収納ケースの周囲には、可燃物が保管されていた。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱して焼損した可能性が考えられるが、電池セルの焼損は著しく、事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
106	A202400935 令和6年11月12日(大阪府) 令和6年12月13日	バッテリー(リチウムイオン、電動バイク用)	HC-48V7.5AH	MOBIMAX JAPAN株式会社	(火災) 当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	○当該製品は電動バイクに搭載した状態で焼損しており、アルミ製外郭の一部に穴が空いて、開口部からリチウムイオン電池セルが露出していた。 ○内蔵の電池セルは、全てのセルにおいて、内部の電極体が著しく焼損していた。 ○電動バイク本体は車体番号の刻印が削り取られ、ハンドルは他社品に交換されていた。 ○当該製品の周囲に当該製品のバッテリー以外の由来不明の電池セルが多数焼損して飛散していた。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱して焼損した可能性が考えられるが、電池セルの焼損は著しく、事故発生以前の詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
107	A202400945 令和6年10月6日(福島県) 令和6年12月17日	バッテリー(リチウムイオン、電動工具用)	BSL36A18X	工機ホールディングス株式会社	(火災) 倉庫で当該製品を保管中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	○当該製品は、同型式品1個と共に専用ケースに入れて保管されていた。 ○専用ケースに入れていた当該製品を含む2個のバッテリーは共に焼損が著しく、外郭が焼失し、原形をとどめていなかった。 ○2個のバッテリーに内蔵されていたリチウムイオン電池セルは、一部の電池セルが確認できておらず、残存する電池セルは内部電極体が缶体から噴出する等、焼損が著しかった。 ○基板に基材の穴空き等の出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は焼損が著しく、確認できない部品があり、事故発生時の詳細な状況が不明なことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
108	A202400980 令和6年9月30日(東京都) 令和6年12月26日	リチウム電池内蔵充電器	A1621	アンカー・ジャパン株式会社	(火災) 当該製品を充電中、異音 がしたため確認すると、当 該製品及び周辺を焼損す る火災が発生していた。	○当該製品は外観上、リチウムイオン電池セルが内蔵された箇所の樹脂製外郭が著しく溶融し、電池セルが露出していた。 ○電池セルは外装フィルムが焼失し、内部の電極体は著しく焼損していた。 ○内蔵の基板、栓刃可動式電源プラグ及び事故発生時に接続されていた他社製2口壁コンセントに出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱し、出火したものと推定されるが、電池セルの焼損は著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
109	A202400986 令和6年12月9日(東京都) 令和6年12月26日	リチウム電池内蔵充電器	A1263	アンカー・ジャパン株式会社	(火災) 娯楽施設で当該製品を鞆 に入れて携帯電話機(ス martフォン)を充電中、 当該製品及び周辺を焼損 する火災が発生した。	○当該製品は外観上、樹脂製外郭が著しく焼損して原形をとどめていなかった。 ○内蔵のリチウムイオン電池セル3個はいずれも外装フィルムが焼失して、内部の電極体は著しく焼損しており原形をとどめていなかった。 ○内部配線は確認できなかった。 ○基板に欠損等の出火の痕跡は認められなかった。 ○事故発生時、当該製品に接続されていた他社製スマートフォン及び事業者名、型式不明のUSBケーブルに出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱し、出火したものと推定されるが、当該製品の焼損は著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
110	A202401018 令和6年11月28日(大阪府) 令和7年1月10日	イヤホン(コードレス式、マイク付、リチウムイオン バッテリー内蔵)	AXS-002	株式会社アークス	(火災) 介護施設で当該製品を胸 ポケットに入れていたと ころ、当該製品及び周辺を 焼損する火災が発生し た。	○当該製品の充電を終了してから約2時間20分後に出火した。 ○当該製品は、樹脂製外郭が一部焼損、溶融しており、内蔵のリチウムポリマー電池セル及び基板が露出していた。 ○電池セルは、内部の電極体が著しく焼損していた。 ○基板に出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムポリマー電池セルが異常発熱して出火したものと推定されるが、電池セルの焼損は著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
111	A202401080 令和6年12月23日(北海道) 令和7年1月28日	携帯電話機(スマートフォン)	Redmi 12 5G XIG03	小米技術日本株式会社	(火災) 当該製品を充電中、異臭 がしたため確認したと ころ、当該製品が焼損する 火災が発生した。	○当該製品は、外郭左側面に打痕があり、ディスプレイ面及び背面にもひび割れが認められたが、破損等の時期については不明だった。 ○内蔵のリチウムポリマー電池セルは焼損し、アルミラミネートフィルム外装のタブリード側が開裂し電極体が炭化していた。 ○基板等、その他の電気部品に出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムポリマー電池セルが異常発熱して焼損したものと推定されるが、電池セルの焼損が著しく、事故発生以前の詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
112	A202401081 令和6年12月15日(兵庫県) 令和7年1月29日	リチウム電池内蔵充電器	FT-MB055BK	ファーストテクニカル株式会社	(火災) 当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	○当該製品は、樹脂製外郭が焼失し、リチウムイオン電池セルとメイン基板のみが残存していた。 ○電池セルは焼損して膨張する等しており、焼損が著しく、電極体を展開したところ、正極アルミ箔は溶融、焼失し、残存した負極銅箔に溶融痕等の異常は認められなかった。 ○メイン基板の銅箔パターンに溶融痕等、出火の痕跡は認められなかった。 ○充電に使用していたUSBケーブルプラグの端子部に溶融痕等の出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱して出火したものと推定されるが、焼損が著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
113	A202401089 令和6年4月30日(愛知県) 令和7年1月30日	延長コード	T2045(朝日電器株式会社ブランド; 型式WBS-N302B)	大和電器株式会社(朝日電器株式会社ブランド)	(火災) 当該製品に電気製品を接続していたところ、当該製品の電源プラグから出火し、電源のコンセントを焼損する火災が発生した。	○当該製品の電源プラグの2本の栓刈は、壁コンセントに差し込まれた状態で溶断していた。 ○当該製品は可動式電源プラグ部の焼損が著しく、両極の栓刈は可動部で溶断していた。 ○溶断した栓刈は、壁コンセントの刃受金具との接触部において、スパーク痕等の出火の痕跡は認められなかった。 ○当該製品の詳細は確認できなかった。 ●当該製品は、詳細を確認することができず、詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
114	A202401091 令和7年1月21日(愛知県) 令和7年1月30日	リチウムイオンバッテリー(電動リール用)	DN1700NS	レイワスタービジネス株式会社	(火災) 当該製品を焼損する火災が発生した。	○当該製品は焼損が著しく、樹脂製外郭の一部が消失し、内部のリチウムイオン電池セルの一部及び充放電保護基板が露出していた。 ○露出していた電池セルは焼損し、一部の電池セルで防爆弁が開裂して内部電極体が漏出していた。 ○充放電制御基板は焼損し、電池セルにつながる配線及び電圧監視線の接続部で銅箔パターンに溶融が認められた。 ○当該製品は、今までに落としたりぶつかったりしたことがあったが、異常なく使用できており、事故発生の2日前に海釣りに行った際に使用し、帰宅後に充電しようとしたが充電できなかったため、充電器を外した状態で玄関に置いていた。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱して出火したものと推定されるが、当該製品の焼損が著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
115	A202401105 令和7年1月21日(静岡県) 令和7年2月4日	送風機	CD-208	エス・ディ・ケイ株式会社	(火災) 発煙及び異臭がしたため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。	○当該製品は、住宅の床下に設置された換気用送風機で、樹脂製外郭は上面側が焼失している等焼損が著しく、内部のファンモーターが露出していた。 ○ファンモーターは、モーター巻線に溶融痕等の出火の痕跡は認められず、巻線表面に取り付けられた温度ヒューズは切れていた。 ○ファンモーター用始動コンデンサー、配線接続部に溶融痕等の出火した痕跡は認められなかった。 ○電源コードが断線して断線部に溶融痕が認められたが、断線した位置が当該製品内部か外側か不明であった。 ○事故が発生した住宅では、過去に床下等に断熱材を吹き付ける工事が行われていた。 ●当該製品は、電源コードの断線部に溶融痕が認められたことから、電源コードから出火した可能性が考えられるが、電源コードが断線した原因は不明であり、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
116	A202401110 令和6年12月24日(北海道) 令和7年2月6日	リチウム電池内蔵充電器	A1268	アンカー・ジャパン株式会社	(火災) 当該製品を充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	○当該製品は、充電開始から約1時間40分後に出火して、焼損した。 ○当該製品の樹脂製外郭は焼損が著しく、内蔵のリチウムポリマー電池セルは、アルミラミネートフィルム外装が開裂して、電極体が露出していた。 ○電池セルの電極体は、正極板アルミ箔等が焼失しており、負極板銅箔の一部に多くの欠損が認められた。 ○制御基板は焼損していたが、基材の欠損等、出火の痕跡は認められなかった。 ○充電に用いていた他社製USBケーブルに断線、熔融等、出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムポリマー電池セルが異常発熱し、出火したものと推定されるが、電池セルの焼損が著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
117	A202401143 令和7年2月7日(滋賀県) 令和7年2月18日	電気ストーブ	不明(株式会社山善ブランド)	株式会社ミュージー(株式会社山善ブランド)	(火災) 建物を全焼する火災が発生し、現場に当該製品があった。	○当該製品は、壁コンセントから延長コードを介して給電しており、ふだんから延長コードの抜き差しで当該製品のオン、オフを行っていたとの申出内容であった。 ○当該製品は全体的に焼損しており、金属製の筐体は著しく変形していた。 ○電源基板は焼損し、部品の大部分が脱落していたが基材に局所的な焼損は認められなかった。 ○電源スイッチの軸が溶融し、事故発生時の動作状態は確認できなかった。 ○内部配線の一部及び電源コードが確認できなかった。 ○ヒーター、転倒時オフスイッチ等の電気部品に出火の痕跡は認められなかった。 ○当該製品は事故発生現場において、布団の足下側に置かれており、周囲には衣類が山積みになっていた。 ○当該製品が接続されていた延長コードは確認できず、事故発生当時の接続状況は確認できなかった。 ●当該製品の焼損は著しく、事故発生当時の詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
118	A202401149 令和7年2月15日(大阪府) 令和7年2月19日	ポータブルDVDプレーヤー	DV-PW1040	ダイニチ電子株式会社	(火災) 火災が発生し、現場に当該製品があった。	○当該製品は、事故発生の10時間ほど前に充電を完了後、無人の室内に置いていたところ出火した。 ○当該製品の焼損は著しく、液晶ディスプレイが焼失し、樹脂製外郭が熱変形して、内蔵のバッテリーがむき出しになっていた。 ○バッテリー内のリチウムイオン電池セル2個は著しく焼損していた。 ○メイン基板、操作基板、モーター、配線等に出火の痕跡は認められなかった。 ○付属のACアダプターのDCプラグは本体のDCジャックに挿入されていたが、ACアダプター本体は確認できなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱して出火したものと推定されるが、焼損が著しく、詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
119	A202401175 令和7年2月4日(愛知県) 令和7年2月27日	電気温風機(セラミックファンヒーター)	YSL-HC1200VR(W)	ユアサブプライム株式会社	(火災) 店舗で当該製品を使用中、異臭及び発煙がしたため確認すると、当該製品を焼損する火災が発生していた。	○当該製品は外観上、底板から側面にかけて樹脂製外郭の一部が焼損し、内部配線の一部で被覆が焼失して芯線が露出していた。 ○電源コードは、本体内部の首振りモーター近くで被覆が削れて芯線が露出しており、被覆が削れた箇所の芯線の一部に断線及び熔融痕が認められた。 ○首振りモーターは、金属製外郭の固定用ねじ穴が破損し、本体底部の固定部から外れて傾いており、金属製外郭の外周部の一部に熔融痕が認められた。 ○転倒時オフスイッチ、ファンモーター、セラミックヒーター、制御基板等のその他の電気部品に熔融痕等の出火の痕跡は認められず、制御基板の電流ヒューズは切れていなかった。 ●当該製品は、首振りモーターの固定用ねじ穴が破損し、本体底部の固定部からモーターが外れたため、モーターの金属製外郭と電源コードが接触してコードの被覆が損傷し、スパークが発生して焼損したものと推定されるが、詳細な使用状況が不明であり、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
120	A202401188 令和7年2月19日(愛知県) 令和7年3月3日	延長コード	HKD-31T	株式会社オーム電機	(火災) 当該製品に他の延長コードを接続して電気製品を使用していたところ、異音及び発煙に気付き確認すると、当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生していた。	○当該製品は、3口マルチタップの樹脂製外郭の電源コード側差込口周辺が焼損し、差込口が塞がれていたが、電源コード及び電源プラグに焼損は認められなかった。 ○マルチタップ内部は、電源コードがコードプロテクターの付け根内部で断線し、断線部に溶融痕が認められたが、刃受金具に溶融痕等の出火の痕跡は認められなかった。 ○差込口周辺が焼損した外郭の内面側は、わずかに熱変形していたが、焼損は認められなかった。 ○刃受金具の電源コードカシメ部は、溶融痕等の出火の痕跡は認められなかったが、芯線と刃受金具間の抵抗値を測定したところ、両極共に値が安定しなかった。 ○当該製品は、3口マルチタップに他社製延長コードが接続されており、他社製延長コードのマルチタップには、エアコン(最大消費電力:1290W)と別の他社製延長コードが接続されていたが、事故発生時にエアコンは使用されていなかった。 ●当該製品は、マルチタップの刃受金具と電源コードとのカシメ部で異常発熱が生じ、焼損したものと考えられるが、詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
121	A202401199 令和7年1月17日(大阪府) 令和7年3月4日	机(コンセント付)	WP-LH	株式会社イトーキ	(火災) 当該製品のコンセントに複数の電気製品を接続していたところ、発煙に気付き確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。	○当該製品は4口コンセント(3口+デスクライト専用1口)を有する学習机であり、コンセントには2台の充電器が接続されていた。 ○コンセントは外郭樹脂が焼失していたが、確認できた3口の刃受金具に溶融痕等の出火の痕跡は認められなかった。 ○コンセントに接続されていた充電器2台の栓刃に変形や溶融等は認められなかった。 ○付属のデスクライトの電源コードは、被覆が溶融していたものの断線は認められず、電源プラグの栓刃にも変形や溶融等は認められなかった。 ○デスクライトの蛍光灯ランプ、電源スイッチ及びコンセントの電源コード等の電気部品は確認できなかった。 ●当該製品の確認できた電気部品に出火の痕跡は認められなかったが、確認できない部品があり、詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
122	A202401212 令和7年2月※日不明(北海道) 令和7年3月7日	除雪機(歩行型)	SMX1392	和同産業株式会社	(死亡1名) 使用者(90歳代)が当該製品を使用中、当該製品の回転部(オーガ)に巻き込まれるとともに、当該製品の下敷きになった状態で発見され、死亡が確認された。	○当該製品の周囲に積もっていた雪を取り除いたところ、当該製品の下敷きになっている使用者が発見された。 ○当該製品の走行クラッチレバー(デッドマンクラッチ)は、ゴムバンドを用いて固定し、無効化されていた。 ○デッドマンクラッチを固定した状態であっても、後進時非常停止レバーが押された場合、約0.3秒で変速レバーが「中立」位置付近に移動し、走行停止するが、当該製品を確認できず、後進時非常停止レバー等の動作確認ができなかった。 ○取扱説明書には、「機械の改造やアタッチメントの装着禁止」旨、記載されている。 ●当該製品は、デッドマンクラッチを固定して無効化した状態で後進させたため、転倒した際、緊急停止することなく当該製品の下敷きになった可能性が考えられるが、当該製品の動作確認ができず、事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	